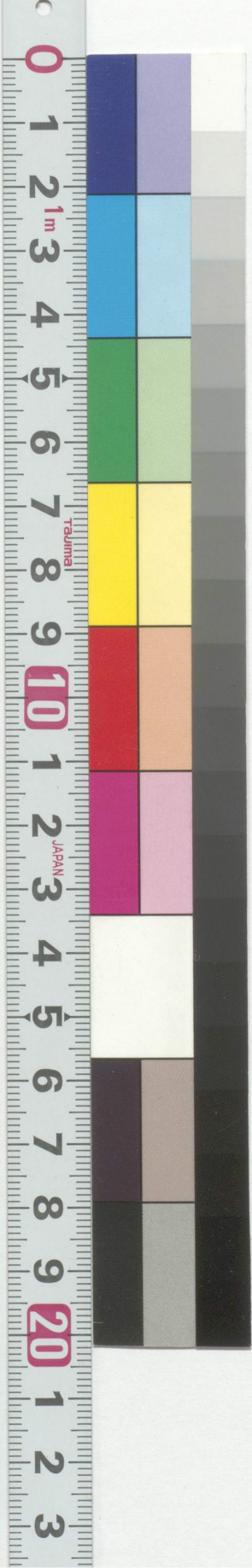


櫻花風報

第三十四號



長崎名産

宮内省御買上の

光榮を賜りたる

純白はまれ椿(純粋匂ひ入) 金三十五錢

椿油
純粋匂ひ入
大瓶 金七十五錢
中瓶 金四十五錢
小瓶 金二十五錢

椿實髮洗粉 一升 金十五錢

鐘の辻洗粉 百目 金十八錢

地方送料各金十二錢

▲市内に限り御一報次第配達無料にて御届け仕可候

女子高等師範學校
各高等女學校
丸嘉商會製造
御用

石鹼 一本金四十錢
地方送料金十二錢

特色

理學士牧野鑑造氏監督の下に精製せらるゝ石鹼にして絹物木綿物毛織物等の洗濯に適し決して地質を痛めず染色を保全し洗滌力極めて強く白きものは愈々その白さを増す理想的石鹼なり

丸嘉商會
一手販賣元
長崎堂椿油店

東京市四谷區舟町(福實館前)

特約販賣店 青葉屋商店

仙臺市大町一ノ九十一

拜啓

益御多祥御消光被遊候段賀し奉候扱本會事務所の儀今般愈母
校内に建築致候様相成候に就ては現在の寄附金額にては相當
の設備も致しがたく遺憾の點も少からず候に付未だ御申込な
き會員諸君は此際奮つて應分の御寄附願度又既に御申込の諸
君は續々御拂込願度と存候
右得貴意度如此御座候 敬具

大正二年四月

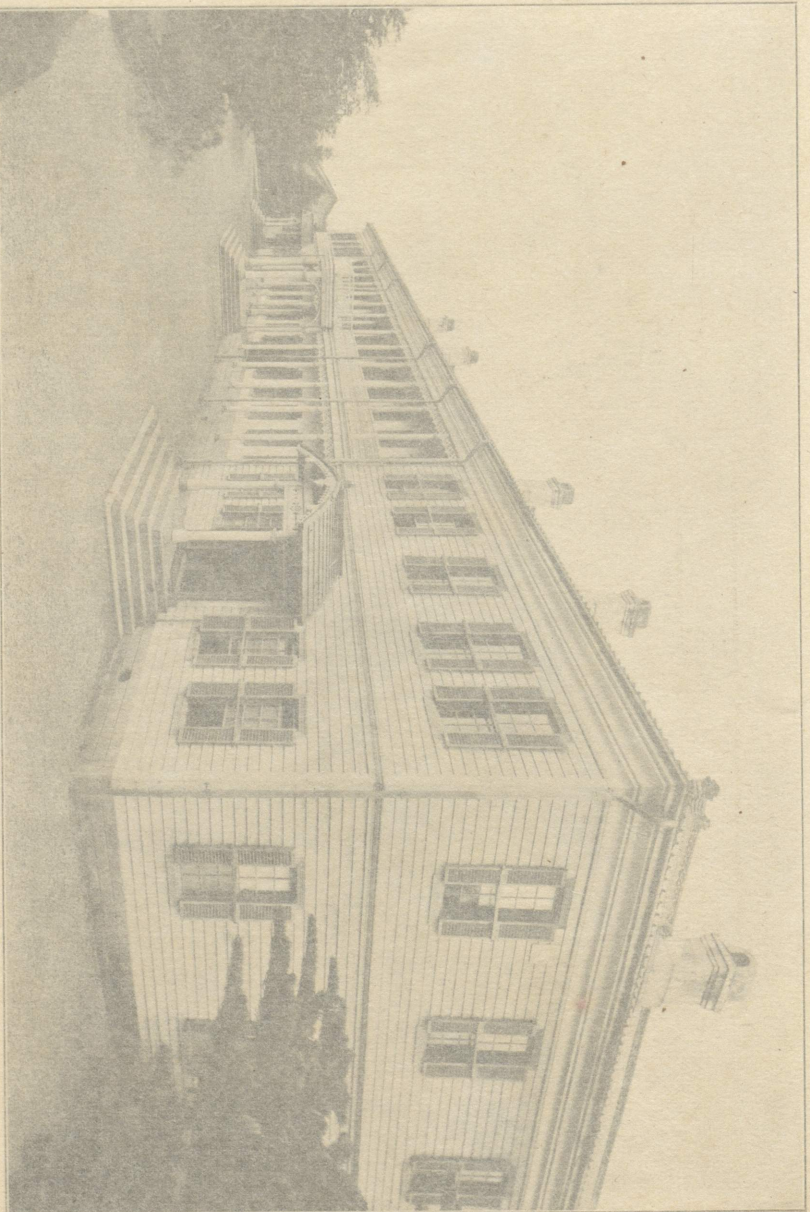
會員

各位

櫻 蔭 會

送別會の記.....	三八
總會記事.....	四〇
卒業證書授與式.....	四一
校長告辭.....	四三
文部大臣祝辭.....	四六
謝辭.....	四七
メービー博士の來校.....	四八
新校舍.....	四八
寄宿舎.....	四八
入學式.....	四八
通 信	
東京より.....	鳩山春子...五一
支那革命動亂の話.....	松村菊枝...五二
廣 告	第三十四號

東京女子高等師範學校舊校舍



此寫眞ハ明治八年十一月廿九日(本校開校紀念日)ニ新築落成シタル吾校舎ナルガ近々是レヲ改築セントスルニ依リ紀念トシテ撮影シタルモノナリ

送別會の記	三八
總會記事	四〇
卒業證書授與式	四一
校長告辭	四三
文部大臣祝辭	四六
謝辭	四七
メービー博士の來校	四八
新校舎	四八
寄宿舎	四八
入學式	四八
通信	五一
東京より	鳩山春子 五一
支那革命動亂の話	松村菊枝 五二
廣告	三十四號

廣

通

廣告

三十四號

三十四號

鳩山春子

松村菊枝

五二

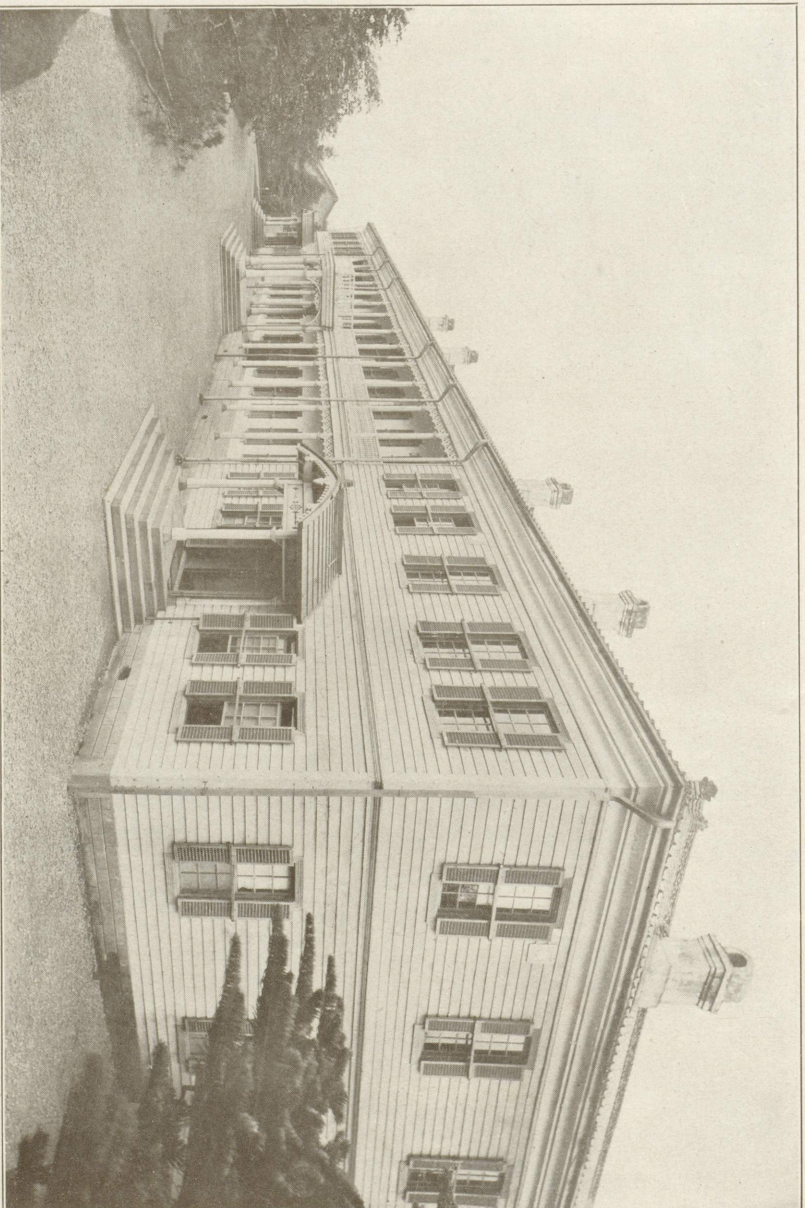
五一

五二

五二

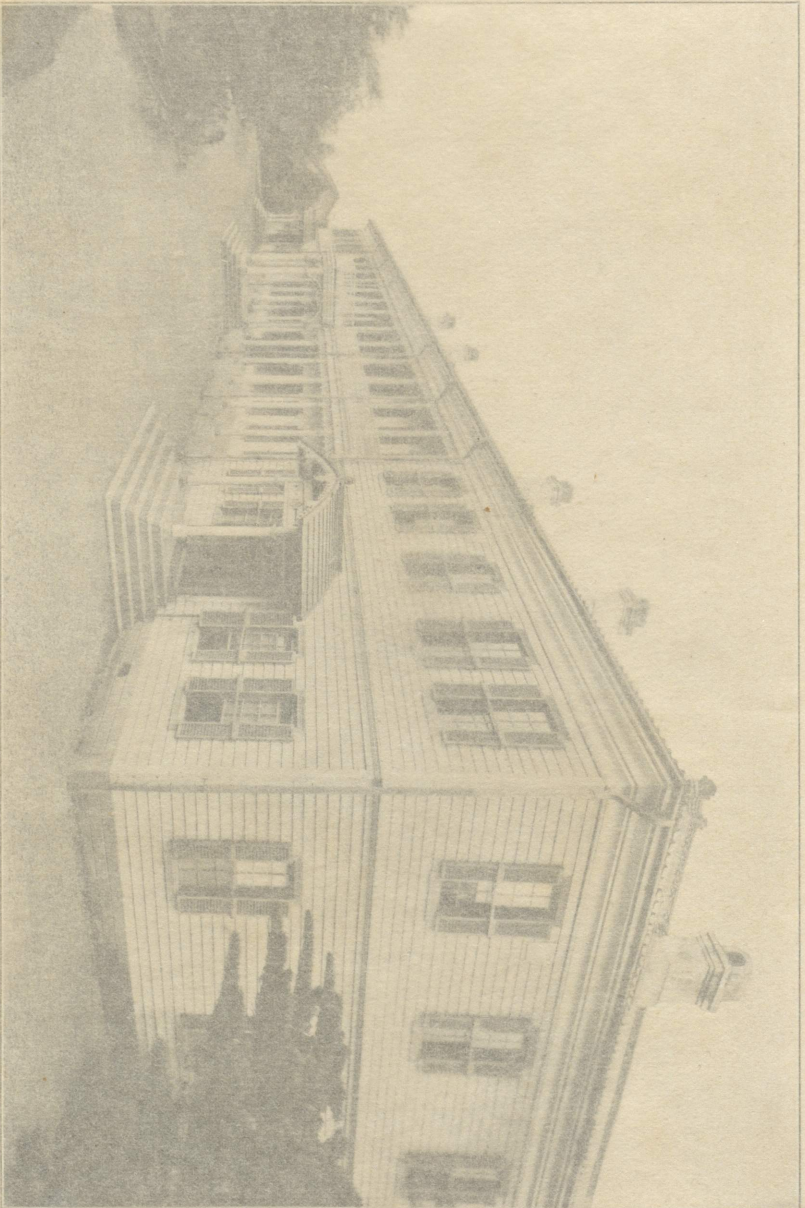
送別會の記	三八
總會記事	四〇
卒業證書授與式	四一
校長告辭	四三
文部大臣祝辭	四六
謝辭	四七
ノービー博士の來校	四八
新校舍	四八
寄宿舎	四八
入學式	四八
通	五一
信	
東京より	鳩山春子 五一
支那革命動亂の話	松村菊枝 五二
廣	
告	

東京女子高等師範學校舊校舍

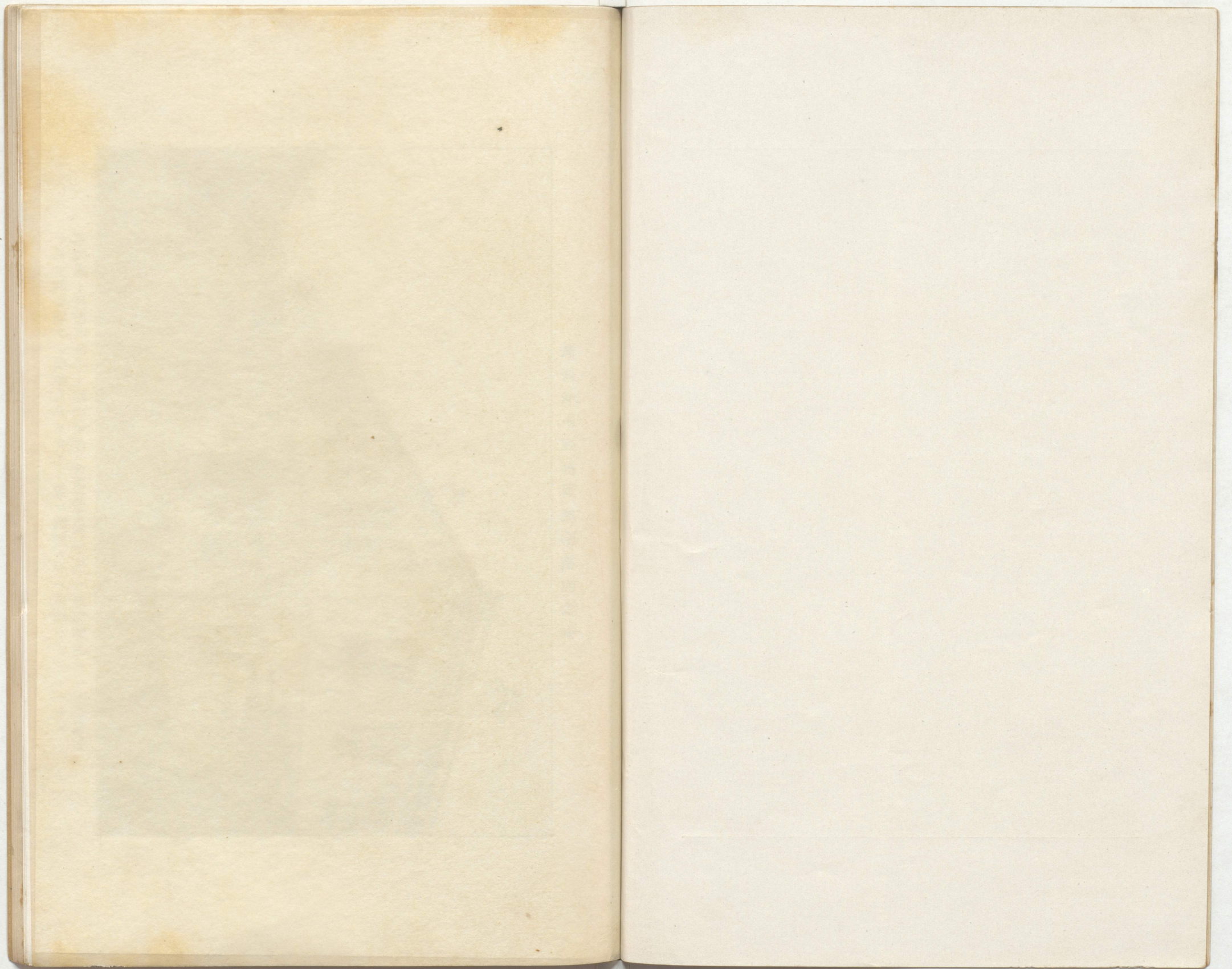


此寫眞ハ明治八年十一月廿九日(本校開校紀念日)ニ新築落成シタル吾校舎ナルガ近々是レヲ改築セントスルニ依リ紀念トシテ撮影シタルモノナリ

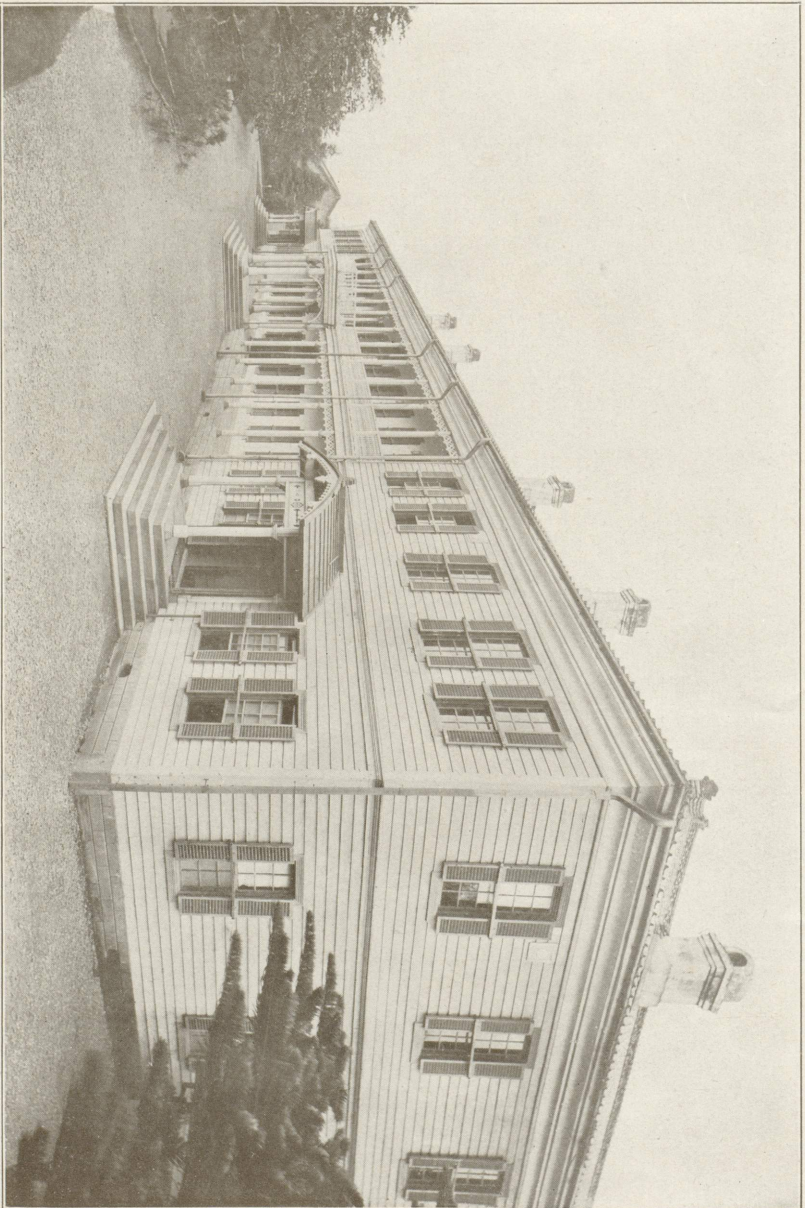
東京女子高等師範學校舊校舍



此寫眞ハ明治八年十一月廿九日(本校開校紀念日)ニ新築落成シタル吾校舎
ナルガ近々是レヲ改築セントスルニ依リ紀念トシテ撮影シタルモノナリ



東京女子高等師範學校舊校舍



此寫眞ハ明治八年十一月廿九日(本校開校紀念日)ニ新築落成シタル吾校舎ナルガ近々是レヲ改築セントスルニ依リ紀念トシテ撮影シタルモノナリ

櫻蔭會々報

第參拾四號

講話

○メイビー博士の講話概要

米國に於ける若き婦人に付きて

(大正二年二月四日 東京女子高等師範學校に於て)

校長閣下職員生徒諸君余は本日御校に於て約一時間本校並に附屬各部を參觀し甚だ愉快に感じたり就中ある方面に於ては余自ら學生となりて就學する事能はざるを遺憾に思ふ事さへあり殊に習字に於て然り又作法に於ても然り元來日本人は優美に且つ叮嚀なりと聞きしが今日親しく其教授を見て一層深く感ずる所ありたりこれ自然によれるか將教育の力によれるか何れにしても美望に堪へざる所なりさて本日は米國の若き婦人につきて語るべしもとより余の如き男子の言ふ所なれば或は完全なる事は望む事能はざるべし余は嘗て處々の女子大學を參觀したる事ありこれ等より得たる智識を

綜合し米國の青年女子につき聊か所感をのぶべし大體其の教育の目的は、從來は米國の女子が大學に入學するは教師とならむとの目的を有するもの大部分なりきされど現今に於ては然らず一般の人も亦入學するに至れり教育に極めて熱心なる一部の米國人は教育に就て非常なる熱情を有す又普通の人と雖も習慣として必ずなすべきものと思惟せり寧ろある方面よりいへば一の流行の如くなれりといふ者すらあり斯くの如くして婦人の教育は一般に普及せり米國にて思慮ある両親が子女を教育するに當りては第一に男女に關はらず其子女が如何なる傾向を有するかを觀察するなり若し法律に興味を有する者は法律の方面に美術の趣味を有する者は美術に進ましむこれ男女を通じて然り思慮ある米人の眼に映する教育は事實を多く教ふる事にあらずして其の子女の有する特殊の能力を發揮せしめ人格を完成せしむるにありと信せらる各人特殊の能力を發揮せしめ人格を完成せしむる事は吾人が世界の人類に貢獻する唯一の力にして又唯一の善事なり智識を如何に多く蓄ふともそれによりてのみ人の現世に於ける第一の務を果す能はず故に父母たるものは其の子女の能力を伸長せしめ人格を完成せしめ其力を強大ならしむる事によりてのみ親の務を完全に盡す事を得るなり個人は各異なる特長を有するは自然なり人種の相違により又は家庭の異同によるのみならず各人の周圍の事情讀物交友等によりて各異なる影響を受け特殊なる傾向を有するものなり而してこれを看破して發展せしむるが人間第一の務にして而も人の社會に貢獻し得る唯一の方法なり

り社會の進歩人の最大幸福もこれによりて持ち來さるゝなり
 教師の職務は人の職業中最も困難なる事なり即ち教師は日々同様なる事を繰り返すが故動もすれば新しき元氣を消失しやすく元氣消失する時は如何に勞すとも教育の事業は全く徒勞に歸すべきなり
 教師は單に事實を教ふるのみならず強き人格と美しき思想とによりて其の教ふる學科を新しき心地よきものとして傳ふべきものなり歐米にても眞の教育者と稱せらるる人多しされど此等の人は必ずしも大學者にあらず即ち大教育者は必ずしも大學者にはあらざるなり英國ラグビー公立學校長たりしアーノルド博士はその名聲教育社會に噴々たり然れども氏は必ずしも智識のみを傳へしにあらず書籍にて得られざる所のものを人格の力によりて傳へたり勿論書籍中の事實も其人格を通じて力強きものとなして授けたりされば此人の存在せし事が已に一大教育にして其死するや全英國人は人類の友としてつくしし人を失ひたりとて深くこれを哀悼痛惜したりといふ米國に有名なりし博物學教授アガシズは單に博物の知識を傳へしのみならず其の生徒を教ふるや自己も亦初めて學習するが如く思惟して生徒と共に研究せりされば生徒も大なる興味を以て學習したりといふ又ハーバート大學の數學の一教授はそのポールドの前に立つや生徒をして初めて數學を學習するが如き感起さしめたりといふ元來數學は興味を起さしめ難きものなるに斯くの如くなりしは殆んど奇蹟とも稱すべきなり教師が生徒に接するには其の人格より自然に生ずる空氣によりてこれを感化せざるべからず

十八世紀の頃英國に一婦人ありしが此人に接する事のみが大なる教育なりと稱せられたる程人格高き人なりきと聞けり故に教師は新らしき智を多く蓄へこれを傳ふるのみなるが第一の務なりと考ふるは大なる誤なり人格を修養しその力によりて生徒を教化する事が唯一の務なるべきなり花を培ふに當りてもある人は多くの勞を用ひずしてよき花を咲かせ又ある人は甚だ勞すれども而も巧に開かしむる事能はざるあり單に花に於てすら然り況んや人の教育に於てをや一種靈妙なる力を有する人とこれを有せざる人とはその教育の結果に大なる差異を生ずるは勿論なり嘗てある幼稚園を參觀せしにその保母は一種云ふべからざる調子にて幼兒に接したりその人は知識の多きにも非らず又特に俊秀なるにもあらず只ある不可思議なる力によりて幼兒を包み全く自己のものとして取扱ひしによりて成功せるなり

米國の女子に對しては兩親は其の勝れたる點を伸ばさむ事をつとめ又女子自らも深く考慮してその道を開かむとす故に子供の希望が確實なる事を認むる時は兩親は何事にもこれを完成せしめむと務む(日本にても然らむ)故に米國の女子は學問上にも自由にして現今歐洲に遊學せるものも數千人あり何れも皆自己の特長を發揮せむ事に務む其の認むるところが果して眞の特長なりや否やは一概に是を知る事能はざれどもかくする事が自己にとりては唯一の目的にして兩親も亦是を是認せり現にある者は異郷にあつて無聊なる生活をなし又ある者は學資の不足のため貧と戰へるもありされど

何れも固き自信によりて目的に進みつゝありかくの如く米國の女子は歐洲又は日本の女子に比して多大の自由を有せり即ち米國婦人は自由に自己を發展せしむる方法を與へられたり而して現今はこれに付きて少しも弊害を認めざるなり確に自己にて適當なりと認むる事は兩親もこれを助け社會もこれを助け社會もこれを保護する國にては古來の風習を重んずるありフランスの如き然り日本の如きも或は然らむ然れども我がアメリカにてはこれに重きを置かず年若き婦人が一事をなさむとする時に當りては世人が如何に批評するかは少しも顧慮せず只自らそのなさむとする所の正しきか否かを考ふるのみとなり然れどもある國の如く風習を重んずる事は一方面より見れば必要なる事なれども其の風習のなりし根本は個人個人の思ひし所の正しきものゝ集合也而して米國にては現今社會上に成就して存在する風習よりも各人の確に正しき事なりと思ふ所を重大なりと考ふる傾向あり若し習慣を重んずる國はその傾向が極端に及ばゞ若き人が自由に發展する事能はざるに至るべし又我國の如きも若し極端に走らば大なる危険を來す憂なきにあらざるべしされど現今にては未だかゝる不都合を見ず時としては米國の若き婦人は餘り自由なるが故に誤解を招くことあり或は勝手なる行動ありと批評せられ又は放縱なりと云はる然れども實際その精神の内部に立ち入りて考ふれば美しき思想と確固たる思慮とを有す

前述の如く米國婦人は自由に教育を受くるが故にその興味もひろく單に小説をよむのみを務となさ

ずして科學の研究にも力をつくし女子大學の如きは諸種の會合ありて種々の研究をなせり嘗に自國のこのみならず他國のこのみならず他國の事をも深く研究せり日本の美術歴史の如きもこれを深く研究し又日本の今日の如き政變ある時は直に之れにつきてあらゆる材料を蒐めてこれを攻究せんとす又學校に關係なき婦人俱樂部もあり故に米國婦人は家庭にありては父、兄弟、の話相手となり他日人に嫁しては良人の好同伴となる又子女を教育する時にあたりては完全なる教師となり嘗に母の愛のみならず讀書より得たる知識を以て之に臨む故に机上の書籍が興味を起すことあり又食卓上の談話が利益となることもあり而して母親は子女のために常に精神を若々しく持し子女と共に成長するが如き心にてその友となれり是れ子女にとりては大なる利益なり

米國にては必要上自活を要する婦人他國よりも多し而して是等の婦人に對しては適當なる就職の途開かれたりされど最も多數を占むるものは教師なり或は餘りに女教師多きにすぐといへる人もあり其他官廳の書記となれるもあり商館に入りて働けるもあり或は新聞雜誌の編輯等に携はるものあり而して是等に對して社會は出來得る限り保護を與へつゝあり現今米國にて幾何の婦人が自活しつゝあるかにつきて委しく數をあぐる能はざるは遺憾とする所なり然れども斯る婦人が他國に比して多きこと及び是等の婦人が何業者間に良き影響を及ぼし其の周圍が空氣を清めつゝあるは事實なり猶此題目に就きて語るべき多くの事を有すれども直接に日本語にて語るを得ざれば却りて短きが勝る

べければこれにて止むべし茲に諸君の清聽を煩したるを深く謝す

○商品陳列館長鶴見左吉雄氏の講話

(大正二年三月廿一日、本會新入會員歡迎懇親會席上に於て)

今日此のめでたき式場にて諸君に御話致すことは予の光榮とする所なり。仍て何か御參考になることを御話し且つ實物をも持參して御目につけて存じたいれども、充分に品物を調べ得ざりしは誠に遺憾に堪へず。故に今日は主として予の日常の職務に關係あることのうち、日本國民が常識として知らざるべからざる産業上のこと、即日本の現在の産業上、日本國民は如何なることを心得べきかに就きて少し御話申す積りなり。女子に常識の必要なるは今更云ふまでもなきこと、殊には平日直接教育にたづさはられ、又直接家庭を主宰せらるゝ諸君は、常識として我が産業の状態を知ること必要なり。

我が國の産業につき明治初年と今日との産業の状態を比較すれば、種々の點に於て著しき相違を見殆んど隔世の感あり。明治初年の貿易總額は二千六百萬圓なりしが、昨大正元年に於ては實に十一億五千萬圓に上り、彼の初年のものに比して四十二倍強の増額を示す如き非常の發達なり。その他單に數額のみならず、凡ての點に於て改良せられし所大なり。御存知の如く貿易には輸入と輸出とあるが、その内輸入品は從來は皆我々の平日必要な物品即ガラス器、テーブル掛、靴類、羅紗、板ガ

ラス、時計その鎖、婦人の髪飾の如きものを主としたりしが、今日にては我が邦の工業發達の結果一通りは日本内地の必要品の供給の道確立せり。元來日本には家庭工業はありしも、大工場組織の工業は存せざりき、工場組織の工業は明治廿年後のことにして、泰西工業の模倣として生じたるなり。よりて是迄家庭工業として存したる織物、染物、鍛冶等の仕事は近來泰西の文物の輸入によりて、人智の進歩し、科學の進歩せるに伴ひ、前述の如く日用の必要品は何にてもあれ、一通りは製出せらるるに至りしかば、從來の輸入品は内國にて供給するを得ることとなりたり、次に輸出品の方は如何にといふに、從來は大抵は原始産物のも、石炭、銅、米等加工せぬもののみなりき。かくて輸入には精製品、輸出には原料品といふ有様にて永年續きたりしが、兩三年前よりその形勢一變し、外國より原料品を輸入し、日本より製造品を輸出するに至りたり。昨年は輸入品の方輸出品より多かりしが、その内一番多かりしは棉花にて總額二億圓足たらず程のものなりき。これも我邦に工業の盛になりし證據にて、これ迄は木綿織物、メリヤス、敷物類、更紗等を輸入したりしも、今日は此の輸入したる綿花より、綿糸綿布、タオル、メリヤス等を製出し、内地にて消費したる餘りを約一億圓計り輸出するなり。羅紗、毛メリヤス等も從來は輸入品なりしが現今にては國內にて製出せらるるに至り、昨年は一千万圓の羊毛をオーストラリアその他より輸入し、それより、モスリン、セル、等を製出したりしなり。昨年は機械類、鐵等も輸入多かりしが、いま昨年の輸入品

の主要なるものを挙げれば、綿、羊毛、鐵、器械、肥料等にして、輸出品には、生絲、茶はもとより、ガラス器械、ガラス製品、鐵品、羽二重等なり。これはまことに結構なることにて、日本の工業の進歩、貿易の進歩を示せるものなり。以上は貿易の數額、内容につきてのことなるが、次には販路につきて云はんに、明治の初年より十年程以前迄はヨーロッパ市場、アメリカ市場を主とし印度支那等には殆んど皆無と云ひても差支へなき程少かりき、然るに兩三年前よりは、歐米は云ふに及ばず、世界の何れの土地にも日本商品の販路開かるゝに至れり。即支那印度、オーストラリア、兩米、蘭領印度等何れにても、日本商品の賣らるゝに至れり。例へば日本よりヨーロッパに至る途中の何れの町にも、日本雜貨の賣らるゝを見るべく、シンガポール、コロンボ、ペナン、ポトサイド等にも日本雜貨は非常な勢にて賣らるゝなり。歐米に於ても同様なるは、今更めて云ふ迄もなきことなり。かくの如く日本商品の販路は近年に於て擴張せられたるなり。次に日本貿易の機關に就いて述べんに、從來は日本商人は外國語に熟達せず、又金融上の知識を明かにせず、又世界の大勢に通曉せざりし等の理由によりて、自ら自身の商品を持ち行き持ち歸りて賣買することを爲し得ず、神戸、横濱の居留地に在る外國商人に賣買の手續を頼み居たりしなり。故に自ら華主となりて彼れのを買ひやるに頭を下げてなしたる如き笑止千萬の次第なりしなり。即ちかくの如き居留地貿易にて輸出入ともに外人の力を借りねばならぬ始末なりしなり。然るに明治時代の末に

至りては、大なる勢にて日本商人自らの力にて賣買をなすに至り、居留地貿易は衰頽した、神戸横濱に其の殘骸を止むるのみとなり、殆んど凡て直輸入の姿となりたり。もとより今日にても尙、外人の手に仍てせらるゝものもあれども、そは矢張り日本商品の賣れ道をあげ呉るゝなれば、敢て排斥すべきにあらざれど、その賣買の間に於て生ずる利益は外人の手に移ることなるなり。然れども今日の如き状態となりては、その利益も日本商人の手に入るを以て好都合なり。現今我が邦の貿易を取り扱へる商人は外人三分日人七分の割合なり。これ亦大いに喜ぶべき事なり。斯く貿易の額は明治初年に四十二倍し、工業發達のため貿易品の種類もその輸出入の關係に於て良好となり、販路も擴張し貿易者もかはりて日本商人の手に商權を握るやうになりたるなど、實に明治初年より我が貿易の状態を考へれば、喜ぶべき事柄のみを發見すべし。これにつけても、如何に 先帝陛下の御英明に在せしかといふこと拜察せられて畏し。

以上の事柄は皆よろこぶべきことなれど、これは全く、日本人として日本の貿易を批評したるものにして、世界の人が日本の貿易を批評する言にあらず。今、一步日本を離れ世界の眼を以てこれを見るときは、決して喜ぶべきことのみにあらずして、益々努力せざるべからざるを見出すなり。これより一々の事柄につきて云はんに、數額の増加せしことは甚大にしてよき事なり。されど世界の貿易總高は六百億圓にして、その中日本は僅かに十一億五千万圓なり。イギリスは一國にて百億以

上なり。日本はイギリスに比すれば十分の一なり。アメリカ合衆國、ドイツ帝國皆貿易盛にしてともに七八十億に達せり。その他一等國とも云はるべき國々は皆大なる貿易額を有す。而してその貿易總額を人口一人割になしたるにて比較すれば、日本は一人僅か十八圓十六錢宛なり、最多額はオランダにして一人七百圓に上り、イギリスは一人三百五六十圓、アメリカ、ドイツ等も、二百圓より七八十圓を下らず。かく比較し來れば日本は實に努力を要すること大なり、殊に殘念に思はるゝは歲出入と貿易額との權衡上のことなり。日本は歲出入額の方貿易額より大なるが、この國は支那を除く他は決してなきことなり。ロシア、イタリーなどのみはこれに近きも我國の如くその差大ならず。イギリス、ドイツ等にては、貿易額の方歲出入の數十倍なり。此の點に關しては將係日本人は大いに努力せざるべからず。次ぎに輸出入品の關係につきては前述の如く我國自身にては誠に發達せるなれども、世界的に調査すれば殘念の點あり。第一日本は數年を通じて輸入超過なり。即ち超過額だけの金貨は毎年外國に拂ひ出す譯なり。昨年は超過額九千万圓、一年は六千五百万圓、一昨々四十三年は五千万圓なりき。かく年々金貨を海外に流出し居るなり。これは一家の經濟も國家の經濟も同じことにて出の方多ければ破産はまぬかれぬ次第なり。然れども入超そのみは必ずしも恐ろしきものならず、イギリス、ドイツ皆大抵輸入超過なり、然れどもイギリスなどは入超にても少しも差支へなし、何故なればイギリスにては貿易以外に國に金の入るこ

と大なればなり即ち汽船にて人を運び物を運ぶによりて得る運賃の収益も實に莫大なり、又諸外國より軍艦汽船等製造の注文あり、又外國人の來遊するもの、殘し行く金も多く、又海外に移住せる者が海外にて種々事業を営みてそれより得る利益を本國に送り來るものも多く、又保險會社が諸外國より保險料を収集するもあり、その他諸種の物品器械の製造の注文ある等數へきれぬ程金の入り來る路ある故、輸入超過は是等にて優に償ひ得るなり。然るに我邦にては貿易以外に於て入る金と出する金とを比較する時は、出づる金の方遙かに多額なり。殊に現今日露戰役後に於ては國債の利子として出す金も莫大に、其他又諸種のことにて何かと海外に出す金額のみ大なり。されば英、獨佛の如き國は入超にても國運は發展すれど、日本にてはよほご考へぬときは、國家の破産を來す恐なしとせず、注意して相當の方法を講ずること、實に焦眉の急なり。且つ又その輸出品にも、製造品増加したりと云へども、たゞその増加したりといふ形跡あるのみにて、大したことはない、生絲は年々一億三千圓を出し、その他羽二重、絹、ンケチ等にて合せて二億圓程の絹物あるが一品にて最多額にて、その他とり出でて云ふべきものにては、一千万圓以上のものは僅かに七種なり。即生絲、羽二重、銅、マッチ、陶磁器、製帽用真田、石炭なり。次きには、五百圓以上のもの六種あり。花苳、樟腦、等なり。以上を通觀する時は、立派な商品といふべきものなく、全製品とはマツチ陶磁器等見すばらしきもののみにて、他は羽二重、生絲、石炭、真田等の工業材料品なり。こ

れはもつと日本にて加工して出す必要あれども、未だ其處まで手がまはらぬ也。かく日本の輸出品には重みのあるもの少きに反し、他の海外の文明國にては、一品にて何十億、にのぼるものあり。器械類の如きも、イギリスにては三億以上を出しドイツにもアメリカにも二千五六百万圓以上を出すに、我邦には百五六十万圓なり。凡て日本商品は海外列強に比すれば、見すばらしきのみなれば將來商品の發達につきて研究する必要大なり。輸入品には原料品多く綿、羊毛等の輸入せらるるは誠によきことなれども、なほ其他輸入品中には遺憾千万のもの多し、其れにつきては我々男子にも責任あれども亦諸君婦人方にも同様の責任あり。即ち日本にて製出さるゝ物品をわざ／＼外國より買ひ入れて使用するとなり。石鹼、紙、鉛筆、羅紗等は其の著しきものなり。是等のものは皆本邦にて製出せられ、凡ての點に於て外國品との區別は無き程迄進めるにも拘らず、かくの如き有様なるは遺憾の至なり。鉛筆の如きは海外に出す額七十萬圓にも及べるになほ丁度七十萬圓程の輸入あるは實に笑止の極ならずや。もごより製圖用の鉛筆の如く外國にあらずしては不可なるものあれども、然らざるものにて、少々の不便は忍びても日本製のものを用ひられたきことなり。羅紗にて日本製品にて一見して外見にかはりなく又耐久力に於ても外國品に劣らざる精巧のもの作出せらるゝなれども、なほハイカラなる人は海外製のものにあらずしては満足できぬなり。食料品などにも大いに此の傾向あり。食料品としては、ハム、ベーコン、コンデンスマルク、コンスターチ、小

麥粉等主として輸入せらるゝが、その内コンデンスマルクにつきて云へば、數年前までは二百七八十萬圓の輸入ありしが、現今にてもなほ二百萬圓足らずを輸入し、ネワスル、イーグル等の舶來品歡迎せられつゝあるなり。此の如き現象は全く明治初年の古き時代に旺盛なり。舶來品崇拜熱の今日に残れるによるにて、其のため許多の全盛品は日本にて同様のもの、製出せらるゝにも拘らず輸入せらるゝ次第にてその數額はなかく、巨大なるものなり。

又日本商品の市場即販路擴張せられしといふことも全くその通りなれども、さりながら日本商人の貿易のしかたよろしからざる爲めに、當然發達し隆盛に赴くべきものが、十分の發達を得ざるなり。之は實に遺憾の事なり。例へば支那との貿易につきて云はんには、支那と日本との間は極めて近く僅々四日を費して達し得る地なる故に物貨の運賃も極僅かにて送り得、且つその國の住民は智識の程度日本人に及ばず、文明も進まざれば工業も發達せず、且つ關稅も日本は支那に對して最惠國條約を結ばしむる權利を有するが故に、日本物貨は支那政府にて僅か五分の海關稅しか課するを得ざるなれば、日本人が支那にて貿易するは誠に爲易きなり。その上支那は日本の數十倍の面積を有し、人口は四億にも達せるなれば、仕方次第にて、日本より支那に商品を賣りに行くは誠に便利にて且つ非常に有利有望なるなり。然るを日本の對支那貿易は漸く近時五六年來より手を附けられたる如き殆んど不思議とも云ふべき有様なり。其れ迄は如何といふに、日本人は感情にて貿易をなし居たる爲

に、外國貿易と云へば歐米人を相手にせねばならぬものと思ひ居りて、少しも進みて販路を開かんとせざりしなり。故に今日にても本邦の對支那貿易は誠に幼稚なるものにて、僅かに天津、北京、上海等大陸の入口の都會にて稍々賣れ行き多くなれる位にて、奥の方には未だ少しも入り居らざるなり。支那に次ぎて大切なる市場たる印度に對しても同様にて、たゞカルカッタ、ボンベイ等のみに貿易行はれ、印度内地には日本商品の影を見ず、蘭領印度にても然り。漸く此二三年來入口の方にその道の開けたるのみなり。アフガニスタン、ベルジスタン、トルキスタン等の地方にて日本商人の入り居る者一人もなし。斯く東洋をはじめの廣漠たる世界の大市場に對して一つも立派に手をつけ居られざるは實に遺憾なり。ヨーロッパに於てもアウストロ、ハンガリーより東の方バルカン、ギリシア方面には皆無手を着けられざるなり。イタリーの如きは日本商品を年に千七八百圓買ひ呉るゝ好華客なるにも拘らず（日本にて伊太利より輸入する額は年五十萬圓のみ）イタリーの土地に日本商人の至れるはなく、悉くイタリー商人が來りて買ひ行くなり。南米にも日本人は行けど、之も現今はまだ誠に微々たるものにて、今後よほど努力せざれば駄目なり。オーストラリア洲他諸地方にもなほ發展の餘地は十分にあり。徒らに日本人の日本觀を以てせず、世界的の眼を以て觀察しよく日本の世界に於ける狀況を知りて一段の奮勵を爲さざるべからず。又商權が日本人の手に歸して直輸入の狀態に進み來りしとは云へど、さて日本商人の手に移りし貿易の狀況は如何といふに、實に此は到る

處にて非難せらるゝなり。第一日本商人は極めて不信用なり。新聞などに往々報道せらるゝ如く日本商人間に商業道德の進まざるは事實にて、虚偽を言ひ、約束を守らず、見本と異りしものを送る等のあらゆる不道德を行ふが故に、二三例外の大貿易會社をのぞきて大体に於ては眞に不信用なり。一つには日本人の今日の事情にては已むを得ぬ事もあるなれど、大いに改良せざるべからざることなり。此の如き不信用の事を行ひつゝある商人自身も決して其れをよしと思はざれど、要するに資本が小さきこと、海外の事情に精通せざることの二つの大原因によりてかゝる結果を來すなり。若し大資本を運轉して爲す仕事ならむには、小さき目前の利益のために汲々たる必要はなけれども小さき資本にて商業を營むため、いきほひ一厘一毛にても早く利せんとする要求おこりて、己むを得ず信用の點を顧みず、苟も利益のためには爲さざるなしといふ有様に陥るなり。例へば茲に甲なる商人ありて印度地方にて或る商品の販路を開き賣行誠に宜しきに至りしとせむに、その評判を聞ける乙商人は忽ちその甲商人の賣品と同様の見本を持ちて印度に至り、是迄甲某が二圓にて供給せるものを一圓八十錢にて供給せむと云ひてその甲某の賣れ道を乙自身の方に奪ひ取らむとす。然るに又丙商人あり、おなじくその地方に到りて某が一圓八十錢にて賣るものを一圓五十錢にて賣り出すべしといふ。彼地の商人華客は甲より乙、乙より丙を撰びて注文するは當然なり。さりながら、同一の品物を前より低廉に供給し得る筈もなければ、乙、丙のは甲よりも粗悪なる品物とな

るは明白のことなり。然する時は、いよ／＼現商品出來到着の時、彼地の商人はそれを見て大いに怒り、見本と相違する故、買ふこと能はずと云ふ。乙なり丙なりは其の品物をおめ／＼と持ち歸るわけにも行かず、然らば一圓に負ける故、是非買ひ呉れよと請ふやうの次第となり、従つて日本商品の相場ぐづれ、到る所に日本商品は粗製濫造にして且つ相場の高低甚だ不確實なりとの評を蒙るに至るなり。メリヤス、ガラス器、陶磁器、漆器、毛織物等皆然り。かくして日本商人は日本人同志にて互に賣りくづしをなしつゝあるなり。外國商人との競争にもあらず、又需要者の工合の變更するにもあらず實に全く日本人同志が、毫末の利を争ふため此の不始末を來すなり。かくて外國商人は日本商品には一定の價格標準なければとて、誰れも皆日本商品を取り扱ふとを迷惑に思ひいとふ様になるなり。かくの如きは全く日本の貿易商人が二三の人をのぞく他は海外の事情に通せぬより起ることなり。外人は決して安きものを安買はせぬものなり。ドイツ人の如きは、一時販路を擴めんためには粗悪なるものをつくることあれど、これは全く販路を占領せんための目的にてせらるゝものにて、例へば印度にてイギリスのメリヤスが賣れ行きよき時など、ドイツ商人は品質を悪くし、價格を安くして全く英人よりメリヤスの賣れ道を奪ひ、さて後に次第次第に品質をよくし、耐力をつよくし、價格を上げて行くを以て、その商品に對する信用は日を経るも決して落下することなく、利益は日を逐うて増し行くといふ次第なり。日本人のは然らずして、だん／＼品質を悪くする故、信

用も落ち、買手もなくなりて利益も得ぬこととなるれば、是れにつきては實に改良せねばならぬなり、又歐米例へばニューヨーク、リヨン等の如き處には、三井、堀越、高島屋等著名の貿易商五六人のみにて重に營みをれるにも拘らず、その五六人の間に競争ありて其の爲各自みな大なる利益を得ぬといふ風なり。これ等大商館同志の間にもかゝる次第なりとは嘆かはしきことにてよほど考へねばならぬことなり。更に又日本商人は外國語に熟達せぬ故、前述の如く外國の事情にも自然通じがたく、又直接商業の取引上にも先方の意志を了解し得ぬ不便あり、將來は外國語に熟達せる人、海外の事情に精通せる人を貿易商人とせざるべからず。

以上の如くして、日本の貿易は明治初年の幼稚なりし状態に引き較べては、殆んど隔世の感ある如き發達を遂げたるなれど、更らに是れを諸外國に比する時は、まだ一實に前途は遼遠なり。それ故將來は益日本の國産を増殖し、すべての點において大改良を爲すこと必要なり。さらばそれには如何にすべきかといふ産業上の問題起り來るなり。それには先づ第一に内地の産業を盛んにし、輸出品を増すことなり。此の事につき諸君にお願ひ致し度きは、直ちに御婦人方が産業の發展に盡力せらるゝと云ふわけにはゆかねども、輸出品の大多數は婦人の手になれるもの多し。即ち第一等の輸出品なる生絲及びすべて絹絲にての製品二億圓以上あるが、これ等は殆んどその全部が農家の女子の副業として爲すことなり。其の他麥桿真田、麻真田等も額多きものなるがなほそのほかに、女

子の手に成るものには、提灯、扇子、きもの、刺繡、及び種々のドウローン、ウオークス、レース等あり。又男女共同にて製出するもの多々あり。要するに女子の手になるもの極めて多し。それ故なるべく家庭にて手工を奨励せられむことを切望す。でき得べくば、御自身にて暇々に手工をしていたゞきたきも、然程までにあらずとも、手工を卑めぬ氣風だけは是非つくりていたゞきたし。日本にては、皇室にて御立て遊ばされたる學校は兩學習院のみなるが、イタリーなどには皇室立の手工學校あり。オーストロ、ハンガリーにても國立の學校にて女子の技藝學校多し。それ故一般に手工業の奨励せらるゝは無論のことなり、日本にては從來婦人の手は白魚の如く白く細き指を美しとて賞し居たれども、將來の婦人の手はよく働かすを尊しとすべきなり。婦人の手をもつて働かし國産を増し國富を増すことに骨を折られたし。かくて上より下に及ばし、國內一般に手工業を尊ぶよき氣風をつくらんには、下層は下層にて次第にそれ相當のよき副業、手内職おこり、國をあげてよき氣風となるべし。私共が今日怪しむは、近來上流の家庭に於て手工業をいやしむ風あることなり私の藩などには、維新前までは手工を尙べれ、押繪、摘み細工、などは、殿様の御家族方御自身になされ、御手製のものを諸臣に下賜せらるゝ風あり、私の家などにも、度々これを拜領せしことあり。此の如きは誠によき風なるが、近來はよき家庭はご手工業を賤しむ風あるは慨すべきことにて、現在の日本の状況にては、かく悠々閑々としてはをられぬなり。現今我國にては年々金貨は

海外に流出すること多きを以て、軍備擴張も、鐵道の改良も、教育機關の發達もみな十分に出來ぬ有様なり。それ故一方に經費節減の必要生ずるなれど、たゞかゝる消極的方面のみつとめず、同時に積極的に工業の進歩をはかり國產の發達に努力すべき必要ある秋なり。されば我等日本國民は皆同様に安閑として過すべきにあらず。

戰爭の慘害は耳目に著しく鮮かなるを以て誰もこれを恐るれども、平時の經濟上の災害は目立ちて見えぬ爲、經濟上の國力の退歩に容易に氣附かぬものにて、却つて戰爭よりも恐ろしきなり。經濟上の戰爭は世界萬國を相手にして、且つ不斷にして少しもやすみなし。時々刻々に行はれて休みなきを以て、是れにつきては寸刻も油斷はできぬなり。劍の閃き砲の音は見えも聞えもせねど、平和の戰爭ほど恐ろしきものはなし。御同様に國民一般の急務として考へねばならぬは此の一事なり。

これより今日持ち來りし十數點の物品につきて、手工業の實例を御話致すべし。(かくてベニスなるイタリー皇后の立てられし學校にて製せられし襟かけバリにて求められし一枚五十圓といふ手あみのレースのふちどりのハンカチをはじめいろ／＼と示されて説明せられたり)

諸君の中、誰方にも、何か手工をなし、見んと御希望の御方は、何時にても、農商務省の商品陳列館に御來觀下されば、よろこびて御説明申し上げべし。目今日本にて輸出するドウローンウオークの總高は一年二百五六十萬圓に上りをるなり。その他、レース、造花、摘み細工、ボンチットの材料

となる裝飾品等上品なる仕事も多し。何卒家庭にて手工業を奨励せられ、これを尙ぶ氣風をつくられたし。次に今一つ大切なることは、如何に輸出品をふやし、内地の工業を盛になすも、若し諸君を始め一般の國民が、日本製のものを使用せられねば駄目なり。日本にて立派なるもの製出せられ居るにも拘らず石鹼などは年々七八十萬圓の輸入あり。而して日本より東洋諸國に輸出せらるゝ石鹼の總額は同じく七八十萬圓に上りをるなり。ブラツシの如きも輸出多くアメリカ市場に鬻がるゝものゝ大多數は日本製品なる如き有様にてその輸出高百萬圓以上にのぼれるに、なほ銀座あたりにては外國製ブラツシを買ふ人多き由なり。時計の鎖なども今日にては外國製品よりも日本製の方品質よろしき程なり。然るにある日本人ドイツより土産に鎖を求め來り大得意なりしを、歸朝して日本製と知りて大いに驚きたりといふ笑話のある程なり。されば諸君を始め將來の日本國民は何卒日本製品を使用せられて、外國品をつかはぬ考をもたれたきものなり。日本に製出せられぬものは致方なれど、さにかく日本に製出せらるゝものとならば、少しの我慢はなしてそれを使用致したきものなり。此氣風は外國にては近時盛んに鼓吹せらるゝ所にして、一昨年英國のジョージ五世陛下の御戴冠式の擧げられし際、イギリス皇后の思召を以て凡て儀式用のものはみな英國領土内に製出せらるゝものゝみを以てせよとの御誼あり、先般予はロンドンタワー内に陳列せられたる其の儀仗用品を拜觀していたく感佩したる次第なるが、イギリスの如き富國にてなほ且つかくの如くなる以

上日本の今日の如き産業の幼稚なる國にては、是非にも前述の如くせられたきものなり。ドイツの如きにても産業についての歌をつくり、以て獨國民に獨國製品をつかへと教へるなり。日本にては全く今日此點に最も意を注がざるべからず。日本人はたゞ譯もなく舶來品を喜ぶ故、日本製品に舶來品とわざ／＼稱し外國のマークの眞似をつくる程なるが、これは實に見識のない話なり、此の如きは誠に遺憾のことなれば、この點もなるべく早くよき氣風に改めたきものなり。

以上の他にも希望をのぶれば際限もなきこと故この位にて止めおかん、日本の輸出入品の比較等も陳列館には致しあれば、御序の折御一覽ありたし。定めし案外の感あらるべし。我々の如き専門家にてても時に案外に思ふこともある位なれば。かやうにして一方にては輸出向の品物を製出することを奨勵し、一方にては日本品を使用する氣風を家庭にて又學校にて作興せられなば、我が産業の發達に貢献する所極めて大なるべしと信ず。長らく靜聽を煩したるを謝す。(完)

○中島先生御話

我が考は平素に盡したれば今更述ぶるの要なければも卒業は人生の大事件にてかゝる時に受けし印象は深きものなればこゝに一言する次第なり

卒業によりて諸君の身の上は急に一轉す此の急劇なる一轉に際して多少參考の辭を供せん一轉とは即ち從來は被教育者の位置にありて安全に保護せられ其責任も一個人のものなりしが今後は教育者として人を保護しその責任は社會に對するものなり諸子の知れる如く現時女子問題に對する世人の注意は深くなれり世間の普通より異なる事をなす女子が出づる爲に人の注意を惹く所の新しき女あらはれ來れりこは日本のみにあらず歐米みなこれにて英國の如く保守と云はるゝ國に於てすら尙女子の選舉權運動あり随つて是等は早晚日本にも入るならむかゝる故に平素希望せる所を述べんと欲するなり殊に日本にては高等教育を受けし女子少きが故にその一言一行は世人の目する所となる故に注意せざれば自己一身のみならず父母或は出身學校の名譽に關し又將來の日本女子教育にも重大の影響を及ぼすべし予は本校に關係を有するが故に女子高等教育につきては常に意を注ぐ所なり由て世人の批難忠告につきて聞くところの二三を述べんされど勿論是等が諸子に對する適評なりといふにあらず。

一、世人は高等教育を受けし女子は傲慢なりと云へり世間或はかゝる女子もあるべしこは苦々しき批評にして若し高等教育を受ける事が人を傲慢にせば女子の高等教育は大に注意せざるべからずかゝる批評を聞くはなげかはしきことなれば注意せざるべからず。

二、高等教育を受けたる人は万事に獨立したる考を有せざるべからず而もこの獨立心は他人と協力することゝ矛盾するものにあらず然るに高等教育を受ければ獨立自重の強きため協同心を欠くが如

き傾ありかくては協同して社會の利益を計るべき教育の目的にそはず。
 三、諸子の生活状態の激變と共に最も必要なるは言語の謹慎なり學生時代には世人もその失言を默許すれども一旦人を監督すべき地位に立ちては言を謹まざれば思はぬことより他人の感情を害し又自身に禍を來すことあり故に卒業當時は之が修養を努むべし公務に従事する者の殊に重すべきは秘密を守ることなり天真爛漫の學生生活には秘密少きが故に生活状態の移り變りの初期に於て之を守るとは難事なりされば公私の別を明にし不都合なきやう力むべし。
 四、卒業生諸子にして郷里に就職する人は稀なり異郷の風俗習慣は諸子に奇異の感を抱かしむるものもあるべしと云へども之に對して批評するが如き事あらば地方人の感情を害すること少なからず予の數々耳にするば女教師は感情強く愛憎偏頗なりともより男子にもかゝる人無きにはあらねども概して女子は感情強きためにかゝる傾向を有するが故に注意すべし。
 五、最後に一言すべきは將來諸子が向上發展せられむことなり我が國の學生は卒業後發展する事少し我が學校教育の程度は決して外國より低くからずされどその弱點は發展が學校のみにて終ることなり外國人は卒業後向上をはかる故に生涯に於ての知識の分量は大差を生するなり故に諸子は本校にて學びたる處を本として漸時發展せられむことを希望して歇まざるなり各自その興味ある所を研究せば自然高尚なる趣味を養ひ得て他人の知らざる樂しみを享有す予諸外國の女子を見るに我が國

の如く家庭の雜事に追はれて終日讀書に餘暇を有せざる女子を知らず相當の家庭の婦人すら尙三十歳前後にして高等下女となる高等教育を受けし人は衣食住のことを離れたる高尚なる方面に思想を向けこゝに樂しみを得心ことをつとむべし位置ある人の夫人にして尙且つ大臣の名をさへ知らぬ人もあり文明國の女子として實に恥づべきものにあらず勿論女子に參政運動をなすべしといふにあらず然れども一國の事は男子のみに俟つべきものにあらず論女子に參政運動をなすべしといふにあらず然れども高等教育を受けたる人は國家を土臺として一家を整理し學校教育家庭教育の何れに於ても凡て國家を土臺とせざるべからず今日の傾向の如く高等下女に下らず一生涯發展して樂しみに満てる生涯を續くるは實に諸子の幸福のみならず子孫をして幸福ならしむるを得べし。(完)

誰やかすかたに似たり華の春

はせを

誰人か菰着て在すはなの春

二日にはぬかりはせしな華の春

本會記事

二十六

○主事會及協議事項

○大正二年一月十三日(日)午後五時開會出席者

協議事項

一、本會を法人になしたき事を評議員會に提出せしに全會一致を以し可決せられ之れが實行につきては一切主事に委任せられしを以て之れに關する法令の取調べをなし(堀口主事知人なる法學士につきて尋ねると)参考のため茗溪會の規則を借り入れ(馬上主事に依頼す)たる上次會に於て法人たるに必要な定款作

成に着手する事とせり

一、從來本會事務所の火災保險契約は保險金貳千圓保險料拾圓なりしが黒川書記より掛け合は、保險金參千圓保險料拾貳圓となすならんとの事につき主事に於ては之に改めたき意見に一致し之れを評議員會に提出する事とせり

○大正二年二月三日(月)午後五時開會出席者下

協議事項

一、瓦斯燈の取つけを下向に變更すること(器具費中より)

二、垣根を(修繕費の殘金)の中より

報告

一、事務所の火災保險契約は會社に交渉の結果保險金は參千圓に増額し保險料は従前通り拾圓となすことに決定す

○大正二年三月三日(月)午後五時廿分開會出席

協議事項

一、新入會員懇親會の件に付左の如く決定す

一、講演者は農商務省商品陳列館長鶴見左吉雄氏に願ふ事とし若し差支あれば遞信省通信局長棟居氏に我國通信事業の實況につき幻燈及活動寫真を用ひて講話を請ふと

一、時間は講演者の都合により前者ならば午後三時半後者ならば六時よりし食事は共に午後五時とす

一、會費金壹圓但飲料は會の負擔とする

三、母校の一覽表を本會雜誌の附録として會員

に配布してはこの母校よりの御相談に應じ六月印刷を母校に御依頼し七月の雜誌の附録として會員に配布することとす

右費用は本年度の豫算中にて支拂ひ得るが故に評議員會々議に附せず

四、本會定款は下田、岡部、堀口、三主事次回までに草案を作成し次回に於て協議の上更に喜多見氏に御依頼して公證人猪ノ瀬氏に訂正を願ふこと

五、新入會員懇親會に關する件

會場 母校講堂

時日 大正二年三月廿一日(春季皇靈祭)

講演 講演者未定

晚餐 未定

御大喪期中に付餘興を廢しなほ評議員會に報告して意見を伺ふ事とす

二十七

一、場所第一講堂を食堂に第二講堂を前者の講演場とし後者の講演は第一講堂を用ふる

一、客員推薦の件

左の四氏を客員に推薦する事

中島信虎先生 山崎達之輔先生

倉橋惣三先生 杉 敏介先生

一、臨時總會の件

總會の説明委員は佐方鎮子氏、下田たづ子氏に依頼する事

一、櫻蔭會定款の事

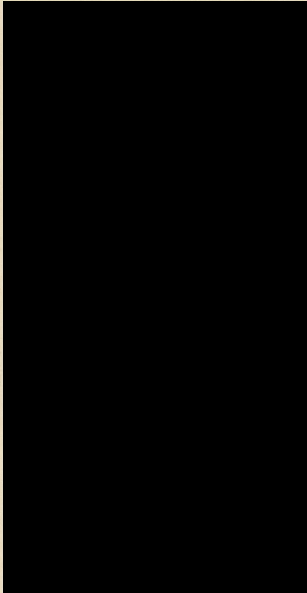
原案につき二三の修正をなし本月の評議員會に提出するにとす

○評議員會及協議事項

○大正二年一月廿三日午後五時開會(第三木曜)

併せて精神教育を施し人格を十分に具へし婦人を作る事を此會にて計畫實施しては如何始めより大仕掛にては六ヶ敷ければ五六人にても仕方なし追々之を大に育てゆく様にするか宜しからんとの説あり此の問題は會の事業を成すと云ふ事につき大切なる事なれば宿題として考ふる事となれり

○大正二年二月廿日午後五時開會(第三木曜日)



協議事項

一、主事より報告之件左の如し

火災保険の金額を三千圓と爲したれども掛金

評議の事項

議長佐方鎮君

一、主事會より提出

當事務所從來二千圓の火災保険を附し居り年掛金十圓なりし所主事會にて三千圓にしては如何三千圓とするも掛金は多分二圓位の増加なるべし豫算には十圓とあれども可成掛合て豫算超過を少くする事として先づ二圓五十錢を増す事と見積り置く事としては如何

全會異議なく可決

一、佐方君より發議

當會を財團法人組織とするを本年の總會に計ると同時に當事務所改築の設計をも併せてはかりては如何

一、高等女學校卒業後一、二年間裁縫制菓等に

は猶一ヶ年拾圓にて引受けたる事

2 本年總會は諒闇中に付餘興を廢し講演を

依頼する事

一、母校在勤の本會客員諸君總代として岩川先生關根先生より助言を與へられたることありそは母校々舎を改築せらるゝに付舊校舎の一部を本會に於て拂下を受け之を學校敷地内に建設しては如何然る時は場所其の他に就ても學校に於ては出來得る限り便宜を計り得させんとこの事なりき依て之を議題として評議したる處場所其の他に就きて質問出たるを以て關根先生より承りたる件即ち場所は現在高等女學校體操場裏手に當る所にして之に舊校舎中 皇太后陛下行啓の都度便殿と成りたる所及び現在女學校の教員室の二室並に其の階下の全部及び廊下階子段等四拾八坪七合五勺之に玄關をも添へて移築する時は其の費用は貳

千九百貳拾五圓を要すれば足るべしこの概算なる旨佐方君より説明したり之に對して甫守氏の反對説あり鳩山氏の擴張説ありたれども結局原案賛成に決し全會員に書面を以て謀り又三月廿一日臨時總會を開きて決定することとし其の書面の起草委員を撰ひ之に托する旨を以て投票したる所左の三氏當撰したり

○大正二年三月廿五日午後五時臨時總會出席者

協議の件

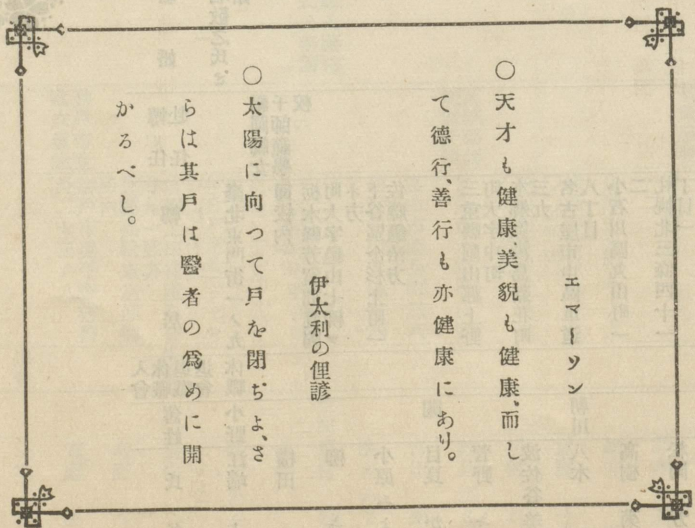
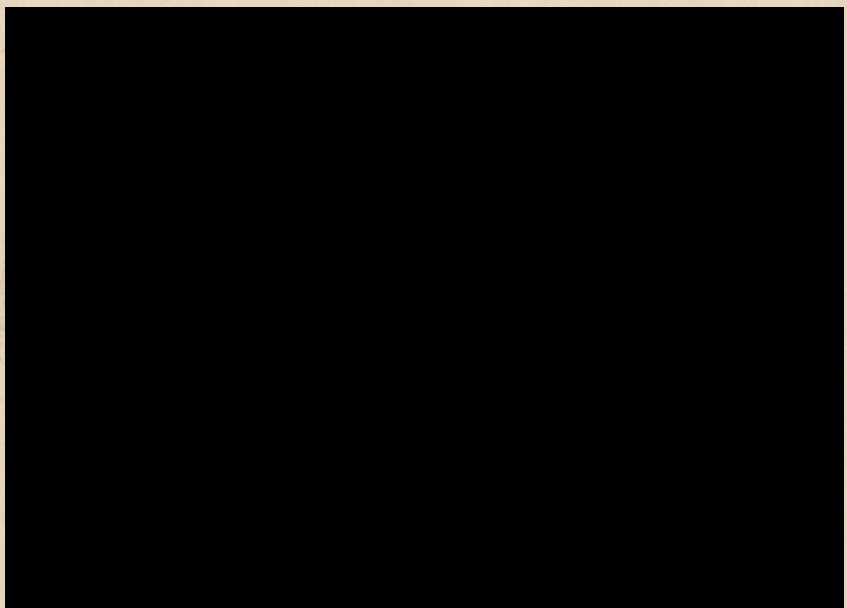
一、事務所建築委員選舉の件

委員の人数は七名とし投票を行ふ結果は次の如し

一、定款改正の件は重要に付原案を持ち歸り宿題とする事

大正二年三月廿一日（春季皇靈祭）

臨時總會及び新入會員懇親會出席人名



東京女子高等師範學校彙報

○職員移動

講師囑託	碧海 康温	任助教諭	山田 まさ
講師囑託	東京外國語學校教授 手塚 光輝	心理學調査囑託	中島 泰藏
授業囑託	牧田 らく	家事實習補助囑託	赤堀 きく
免生徒監	波佐谷 美知	任助教授	星 きい
任助教諭	井村 くに	任訓導	山川 ハツノ
任助教諭	吉川 リヨ	任保姆	芳賀 晴
		講師囑託	萩原 擴
		授業囑託	高木 西吉

○謝恩會及送別會

大正二年三月廿七日午後一時より、本校講堂に於て、本校卒業生諸氏の催しにかゝる謝恩會あり、引續き在校生の催しなる送別會に移り校長及び中島教授の訓話あり、五時本校食堂に於て晚餐の饗應あり、ついで再び講堂に參集、瀟洒たる裝飾を施せる講堂に於て聲樂、器樂、さては幻燈及活動寫眞等の催しありて一同歡をつくし九時過ぎ散會せり。

○送別會の記

第一部

文科三年

山野 スミレ

清くはらはれたる大講堂にて愁の雲いまだ晴れやらざる世のことゝて別に飾りつけとはなけれど
 も中央の大花瓶なる室咲きの櫻花は純白なる卓子かけに映え一入色まさりておごそかなるかざりを
 なせり、主賓席定るや開會の辭について校歌みが、すばの御うたはごなへらる幾そたび口に耳にな
 れ給ひしこの御歌も今日を限りと聞き給ふ御心地いかに感深うまし／＼けむ送辭しめやかによまれ
 心づくしの贈物は恭しく呈せらるやがて中島先生はいとおおそかにもまたねもごろに卒業生のため
 に一場の訓辭を垂れ給ふなさけ深き御教今をかきりの御いましめごと荒波たける世にたち給ひて後
 の日々の大いなる力となりぬべし、唱歌「卒業生を送る」「感謝」「別れの鳥」等いづれもしめやかに
 赤誠あらはれてごなへらるればおごそかなりしまごゐはこれを以て終る

食事憩休

先生卒業生は食堂にて晚餐の饗應あり幹事の心づくしは座席の設けかたにもあらはる食卓は櫻草フ
 リジアデイズーマガレットの四列にわかたれいづれも卓上は其花を以てかざらる先生卒業生の席は
 入りまじりてのありければ最後の談笑につきせぬ名殘を惜しみながらいとたのしげに終へ給ひぬ、
 休憩の暇を茶話室遊戯室として設けられたる雪の寮第一、第二、第三室及び第二講堂に案内す、第

二室は名さへ床しき人形のまごゐなき棚の上にはいづくよりつとひけむ人形のかす／＼これを友と
 し給ふ人さへなつかしくそゝろ立ち去る能はざらしむ蓄音機さへ雲上の仙樂かなでいでて一入興を
 そふ第二室には遊戯道具のあまたをそなへつけられ球突台に棒をふるふありランプかるたまけじ
 く／＼とあらそひては時ならずも若き血をおごらすあり、やさしきポリアフォンの音は人の足をひきて
 第三室また人の山をきづく正面の白壁には美しき繪はがきも壽の字あざかにしるされたりかく壽
 かれて出で給ふ姉君達の幸先やいかならむ、第二講堂にいたれば入口の額先づ目をひく面に送別の
 二字をしるされたる雪形螢あるさへいと似つかはし、螢雪の効なりて出で給ふ君達の御上いとうれ
 し何時かまたあひ参らるることを示せるか柳環もてふちどられたることなくうれし中央のピンポン台
 にはさかんに其技をた／＼かはし笑聲たえまなし、

第二部

六時といふにあた／＼かきまごゐは再び講堂に於て開かれぬいつの間にかへられけむ席は圓形にあら
 ためられぬ主客席をまじへて談笑によろし開會の辭いと閑に終れば如蘭會有志のピアノ三年生の送
 別の歌三年有志のオーガンありいづれも／＼いとめでたく場内酔へるが如し、中村先生のヴァイオ
 リンは天上の樂とひ／＼くげにや梁の塵もとびぬべしやがて外國留學生はたくみなる日本語をあやつ
 りて四年間の厚恩を謝し一場のおとぎ漸をなし拍手の中を退く、菓子ひらかれ果物にはへばねもみ

るなる談話はいとこまやかにかはる祝電つづいて來り喝采やむなきの時尾上先生よりあつきみなさけもて卒業生にたまはりたる御うたは高らかによみあげらる

「羽なりてたつべき鳥をはなちやる春のうれしさ春のかなしさ」げに春のうれしさ春のかなしさに君達の御心も亂れ給ふべしやがて場内眞の暗のおそひ來ると見る間もなく面白き口上と共に美しき幻燈及び活動寫眞はつき〜にあらはれ來りて殆んど應接に逞なし、電燈まばゆくかがやけば唱歌「別れの鳥」に一先づ會を閉ちて自由遊びにうつるさすがに今日はおどり舞ふ人もなくて或は第二講堂に茶話室に卓をかこみていとしめやかになごりを惜しみ給ふかくて九時もすぎぬればつきせぬ名残を惜しみつゝ去りがてに立ちわかれぬなつかしくもしめやかなりし集ひなりし哉、

○總會記事

大正二年三月二十一日午後一時半より母校第二圖書室に於て櫻蔭會臨時總會を開きたり

戸野主事の開會の辭終りて議長選舉をなす例により主事に一任せられしかば武田錦子氏に依頼したり

一、決議要項

事務所ヲ校内ニ建築スル件

二、狀況

佐方氏より校内に事務所を建築するの件につき客員總代岩川教授關根教授より熱心に御勸告下さ

れしにより之れを役員會に相談したるに御勸告に従ふやうにこのことにて茲に一決し今日

日の總會にかくることになりし旨を説明せられたり

尙都合の許す限り總會の出来る位の部屋をつくりたしと申出でられし方もありしがそは委員に一任することになしたり

三、結果

地方よりの申込者も合併し原案賛成者三〇八人不賛成者一人もなし

ことに建築に關しては評議員會に於て委員を選舉し之等の方に一任することになりたり

○卒業證書授與式

大正二年三月卅日午前九時三十分より、本校及び附屬高等女學校第廿四回卒業證書授與式を舉行せらる。當日奥田文部大臣は病氣のため田所普通學務局長來臨せらる、時恰も諒闇中なるを以て、招待員等も僅に一部分に止めたるより來賓は少數なりしも、保證人父兄並に在京舊卒業生等の來校は却て平常よりも多きを算せり、

○本校に於ける文理科技藝科の卒業生は何れも地方長官の薦舉に係る入學志望者中より試験の上

選抜したるものなり、其の入學志望者と選抜者との比較入學者卒業者との比較、左の如し。
入學志望者と選抜者との比較

科名	志望者	入學者
文科	二二二	三〇
理科	二四三	二五
技藝科	一三〇	二五
計	五九五	八〇

入學者と卒業者との比較

科名	入學者	半途退學者	休學等	死亡	卒業者
文科	三〇	三	一	一	二七
理科	二六	二	三	一	一九 <small>一人ノ者ハ病氣ノ タメ卒業延期者也</small>
技藝科(全前)	二六	一	一	一	二六
計	八二	五	三	一	七二

○卒業者需要狀況左の如し、但本項に記せる數は正式の手續を了せるものにして公然の運を終ざるものは之を省く、

科名	申込數	卒業者數	配當數	差
文科	三二	二七	二七	五
理科	二一	一九	一八	三 <small>三人ノ差中一人ハ東京女子高等 師範學校研究科へ入學ノ爲ナリ</small>
技藝科	九六	二六	二五	七一 <small>一人ノ差中一人ハ東京女子高等 師範學校研究科へ入學ノ爲ナリ</small>
計	一四九	七四	七〇	七九

○校長告辭

大正二年三月三十日東京女子高等師範學校卒業式に於ける同校長告辭の大意

本校は本日此に中等女學校の教員として或は高等なる普通教育を卒へたる者として多數の教育ある女子を社會に供給するに至れるを喜び又此に初めて外國留學生を卒業せしめたることを喜ぶ卒業生諸君及び其父母兄弟等の方々も定めし此喜びをともにせらるる事ならん卒業生諸君が今日此光榮を擔はるゝに至れるは何れも能く行を慎み業を勵みたるの結果にして諸君の心中には一種云ふべからざる勝利の快感を覺ゆることならん此時に際し心を新たにすて豫て深く心裡に刻まれたる印象を更に深く且固くし又豫て有する所の覺悟を益鞏固にして其實行を期せざるべからざるなり、此印象と覺悟とに關して數言を費さしめよ諸君の此校に在學し卒業するに至れるは第一光輝ある明治及大正の聖代の恩波に浴する幸福を有するに因る即ち高き深き皇室の御恩に因るなり第二父母兄弟の恩愛

保護に因る即ち父母の恩に因るなり第三師傅の教授訓育指導に依る即ち師の恩に因るなり第四善良なる友人との切磋琢磨に依る即ち良友の感化に因るなり

上の四恩は此際に於て其印象を特に深くして永く不滅たらしめんことを切望して止まざるなり次ぎに諸君が有する覺悟決心の一端に觸れて一言すべし諸君は已に十分なる決心と覺悟とを以て上述の四大恩に報ゆるの道を種々に考慮しつゝあるべし報恩の道は一ならざるべしと雖も吾同胞國民を固人として現在より大に優りたるものとなす事及帝國の隆昌に對し各自相當に貢献することはその主要なるものなるべし即ち諸君は自ら諸君の父母兄弟より優れたるものとなり他人をも同じく優れたるものとなし又更に優れたる子孫を残して國家社會に貢献せしむべきなり、本校卒業生は出で、中等女學校に奉職し賢母良妻を育成する局に當るもの即國民の半數たる女性に國民的教育を施す局に當り又自ら他日賢母良妻たるべきものなり附屬高等女學校卒業生は他日賢母良妻となり内助の實を擧げ子女の教養に務むべきものなり故に兩者共に其場所を異にするも皆國民の育成に當り自らも國民中に重き位置を占むるものなり依てこゝに女子の家庭生活及國民生活に關し數言を費やして諸君を送らんとす、

第一に家庭生活に關して一言せん家庭の平和は一家の繁榮を生み一家の繁榮は國家隆昌の源となる而して此平和を維持し之を進む局に當るものは主婦の外にあらず主婦の純潔なる精神は家庭の平和

の母なりと言ふへし主婦の發達せる常識及同情も亦同じく平和を生み之れを成長せしむるものなり一婦人の人格は遂には一國の盛衰に關すいかで修養を怠るを得べき勉めよや、次ぎに規律的生活とも稱すべき事は我國には甚だ不十分なるが如く感せらるゝが家庭の規律的生活は家族の健康を進め一家の幸福を増し又家事經濟上の良影響を與へ遂には國富の増進に貢献するに至るべし而して一家の規律的生活は唯主婦の力のみにて左右し得らるべきには非ざれども其主力は主婦にありと云ふべし之れが勵行を期せられんことを切望す尚衣食住に關して理科の智識を應用することに深く留意して實績を擧げられんことを望むこれ専ら主婦の掌る所にして教育ある女子は其受けたる教育を實地に行はざれば實の持ち腐れとならんまして其研究は衛生及經濟に著大なる關係を有するに至りては特に深く希望してやまざる次第なり

第二に女子の國民生活につき尙一言せん國民の元氣は國民活動の源泉なり女子は之れを左右する力を有す即ち一般に云ふときは女子は社會の正面に立ち働くものに非ざれども國民の半數は女子なり女子の身體精神の状態如何は直ちに次の國民に影響するものなる事を思へば正面に出で、立働くよりもより以上に國家の盛衰に深き關係を及ぼすものなり依りて女子も亦國民の一員として深く自重し品行を慎み純潔なる精神を以て事に當り好果を將來に結ぶことを期せざる可からず今諸君がうたはれし唱歌の如く精神上にも物質上にも有形無形に他人の爲に又國家社會の爲に自己の便宜を

犠牲に供して貢献することは元氣ある國民生活上離るべからざることなり若しこれなかりせば國民生活の意味を存せざるなり次ぎに國の産業に關する智識を進め勤勞を尊重し質素を守る習慣を養ふべし勤勞を尊重する國民は華美に流れず質素を守ることを得るものなりこは今日の如き世態にありては教育上特に注意を要する點なり、以上述べたる所は國民の一員として又國民を育成する者として一刻も忘る可からざるものなりと信ず今日受けられたる卒業證書は諸君に光輝と特權とを與へしが之れに伴ふて重大なる責任を負はしめたり希くば將來身心を攝養して此の重く且大なる責任を果されん事をこゝに一言して以て諸君の首送に餞せんとす、

○文部大臣祝辭

健全なる國民は健全なる家庭に出て家庭の健全は之を良妻賢母の手に俟たざるべからず故に女子を教育するは亦次代の國民を作る所以なり業を本校に卒へて女子教育の事に従はんとする諸子の責甚だ重且大なりと謂ふべし諸子はより出て任に就かば其の擔當學科の何たるに論なく女子の淑徳を守り實踐躬行を以て生徒を薰化すると共に仔細に地方の情況に留意し其の風俗人情に順應して適當なる教育を施し或は人の妻となり或は人の師となるに方り善く其の本分を完うすべき女子を養成せんことを期すべし

附屬高等女學校を卒業せる諸子よ諸子は既に女子に須要なる高等普通教育を受け以て良妻賢母たるの素地を成就せり希はくは今後益々智徳を研き操行を慎みて以て本校教養の旨趣に副はんことを茲に諸子の卒業を祝し併せて望む所を諗く

○謝辭

我が東京女子高等師範學校は本日をとし朝野貴賓の貴臨を忝うして茲に卒業證書授與の盛典を舉行せらる我等の光榮何ものか之に若かん殊に文部大臣閣下及校長閣下の懇篤なる訓諭を賜はり誠に感激に堪へす我等本校に入學せしより四年短才微力しかも今日あることを得たるは一に洪大なる聖世の恩澤と懇篤なる諸先生の薫陶とに由る所にして其恩惠の深且大なること海嶽も管ならず又願ふに教育の事業たる國家盛衰の係る所にして其責任の重大なるは言を俟たず我等今纔に所定の學科を卒へたりと雖も出て此大任を當らんことを思へば轉た寒心に堪へざるものあり然れども我等は本日賜りし所の訓諭と平素の教示とを體し奮勵努力して専心其職に盡さんことを期するのみ庶幾くは以て聖恩の萬一に答へ奉り併せて師恩に報い奉らん謹みて一言を述べて謝辭とす

大正二年三月三十日

東京女子高等師範學校卒業生總代

伊 藤 ク ラ

○メービー博士の來校

大正二年二月四日米交換講話のため昨冬より來朝せられ居るメービー博士來校せられ本校及附屬校園各部巡覽終りて午後三時十分より講堂に於て、約一時間「米國に於ける若き婦人に就きて」講演せられたり、講演後會議室に於て茶菓を饗したり、

○新校舎

本校東校舎につゞきて木造二階建校舎を新築す、總建坪二百九十七坪五勺二十教室にわかる、

○寄宿舎

牛込區赤城元町廿六番地なる第三寄宿舎は本校生徒卅九名を收容し、同區揚場町廿番地なる第六臨時教員養成所寄宿舎第三寄宿舎分舎には臨教生徒五十五名本校生徒卅六名を收容することゝなれり

○入學式

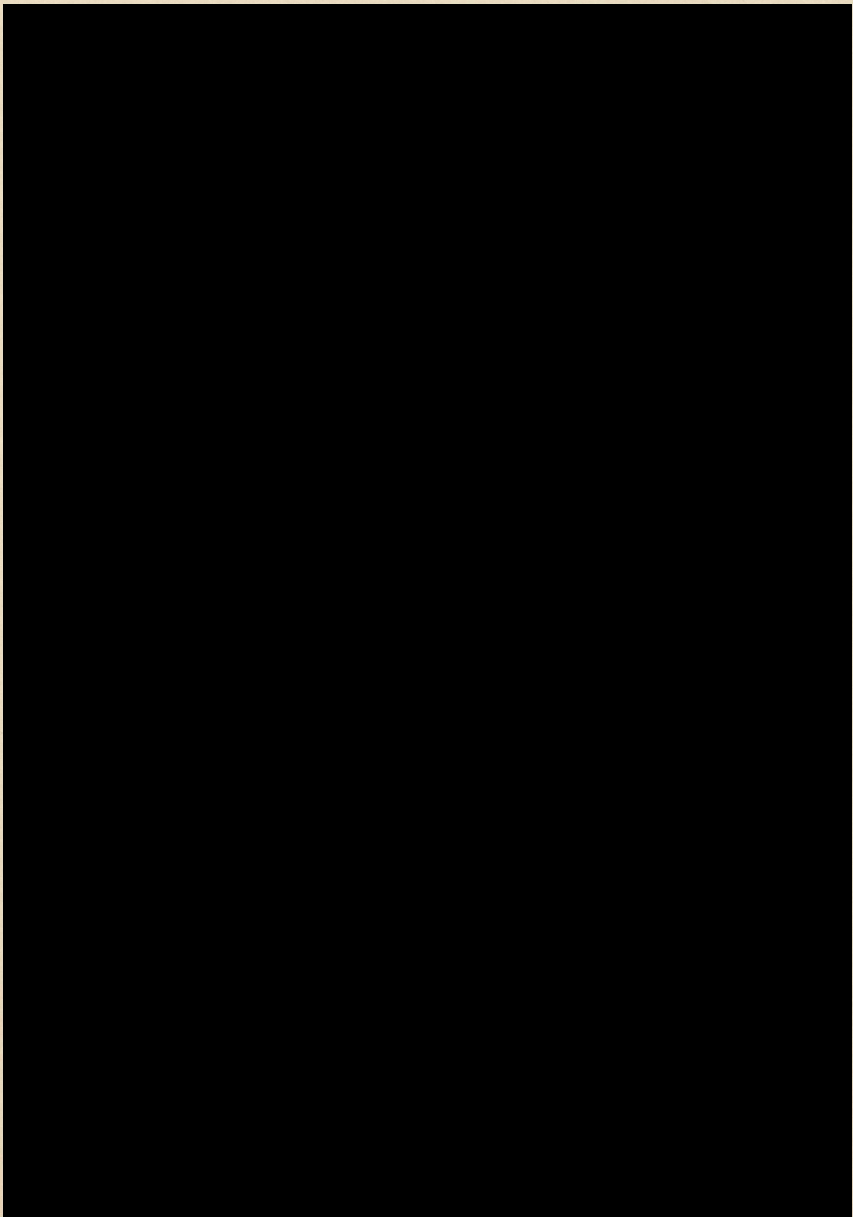
四月十一日午前九時講堂に於て入學式あり、校長の告辭並に西島教授の講演ありたり式後新職員並に新入學生に御親署の勅語を拜せしめられたり。

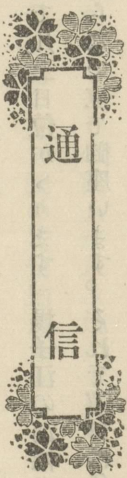
當日入學を許可せられたる者左の如し

研究科



「研究科」の欄には、研究科の学生名が記載されているが、この部分は黒塗りされている。





通信

東京 鳩山 春子

拜復私の近況御通知可致との御文下され拜續仕候取りとめて申上る程の事も無之候へ共御存知の通り私事一昨年十月三日夫に死別せし際は一種何とも形容し得ざる悲哀の情迫り始めて生は死よりも難きとの言葉の意味を實驗仕候然るに悲歎を恣にするは我儘なり自分勝手なり人は生ある間は義務を忘るべからず子息等の爲にも克巳する義務ありと心付き如何にもして餘命を幾分たりとも有益に過す途なきやと思ひ出し候偶々創立者の一人たる關係より神田一ツ橋通町共立女子職業學校に於て親しく生徒に接し見度と考へ候處恰も同校に於ても昨年四月より新たに家庭科を設け高等女學校卒業生の仕上げ教育を試みる事に相成り私に其科を主宰しては如何との事に有之所謂願つたり叶つたりと云ふ有様にて私の力の及ぶ限り盡力致すべく決心仕候爾來毎日同校へ通ひ居候

無邪氣なる生徒の顔を見る丈けにても目下の私に取りては千萬無量の慰藉と相成候のみならず此生徒の精神教育をなさんと努むる事が自然に自己の精神教育と相成候事の有難さ往昔の生活に比して

積極的に暮し得る幸福を心の奥底より神に感謝いたし居候次第に御座候

○支那革命動乱の話

松村菊枝

大正二年三月八日午後六時半より漢口に於ける日本總領事松村菊枝氏に特に本校卒業生たるの故を以て御多忙中にも係らず本校生徒のために支那革命動乱（一昨年）の實況に就きて有益なる御話ありたり。

只今喜多見先生より御紹介下さいましたやうに、私は一昨年の秋歸朝致しました、歸ると直ぐに寄宿舎に御伺ひ致しましたら、争亂當時の模様につき色々御尋ねが御座いましたので、竟當時の事を少し許り御話した譯であります、元來私は多勢様の前に出て御話しますことは誠に不得手では御座います。外ならぬ先生からの御言葉に背く譯にはまゐりませんので此處に立つことになつたので御座います。

革命の争亂のことを御話します前に、先づ漢口及其附近一帯の地理について少しく御話しようと思ひます。

こちらから漢口に行くには先づ上海に着きそれから一旦吳松に戻つて更に揚子江の本流六百哩を溯ります。この間船で凡三日位かゝります、揚子江の河幅は非常に廣くて六百哩位溯つても殆んど河といふ感じの起らない位で御座います。それで漢口は各國の商業の中心であつて日、佛、獨、英露の各國の船が盛に通つて居ります、夏の水多い時などには此地方一帯に産する豊富なる農産物を

運搬するために特に直行船が通ひまして一万噸位の船が漢口の港に横附けになつて居るのを見るとあります、日本からも多くの商人が入り込んで居まして、商業が盛んに行はれて居ります、此處には日、佛、獨、英、露の五ヶ國の居留地がありましてそれが丁度江に添ふて帶の様に連つて居ります、支那街はこれ等居留地についてひらけてゐます、其他以、丁、瑞、等の領事館もあります、漢口から三千メートル隔てたる對岸に武昌があります、武昌は支那の大官が澤山居りまして、張子洞が總督となつてこゝに居られた頃は、日本よりも學者や教育家を招聘して、教育に軍事に非常に熱心にせられて居つた所でありました、

漢口の附近を流れて揚子江に注ぐ河があつて之を漢水と申します、漢口よりこの漢水を隔て、漢陽といふ所があります、この漢口と武昌と漢陽とは天下の三鎮と稱して支那の大事な街になつてゐます、漢陽は大別山といふ山を控へて居て、軍時などには、こゝに大砲を設備して盛に發砲したものです、この邊は一帶に水が多くあちらこちらに湖水があり又一度雨降れば忽ち湖水となる有様であります、大別山上に禹王廟あるのも昔この邊の治水に力を盡されたからとでもいふのでせうか。

氣候に就て一言しますと、此の邊は夏時は非常に暑く室内でも百三度位に上ることがあつて、而も其れが數日に亘つて下らぬことがあります、こんな様で夜も眠られぬ程ですが唯支那人のみは此の熱鬧中にあつて少しも撓まず働いてゐます、

漢口に於ける用水は、唯今は何れも水道の水を使ふやうになりましたが、つい昨年暮までは各國居留地は支那人との感情の行き違ひから水道の水を使ふことが出来ないで已むなく、楊子江の泥水を汲んで之を濾過したり、煮沸したりして用ひて居つた次第でございます。

又此の邊は古蹟にとんで居ますので、吾々外國人が遊んで感懐を恣にすることもしばしばあります。偕これからいよいよ支那動亂に就て少し許り御話しようと思ひます、抑此の動亂の原因は四川省に其の源を發したので御座いまして、はじめ四川省の遞信大臣のやうな位置にある盛宣懷といふ人が支那内地の富源をひき出すために、成都から漢口に至る成漢鐵道と漢口から廣東に至る漢廣鐵道とともに完成せんことを計劃しましたが、支那は元來我國の封建時代の様に各省兵政財政ともに皆別々なつて居りますので其の經費の點などが意の如くならないから、思ひ切つて四ヶ國より借款しようとしたのであります、所が一方の反對する所となつて、こゝに騒動が持ち上つたのであります、其の反對する理由は若し國有になりますと、其土地々々の役人が所謂上前をはねるといふ奸計が行はれぬからであります、それでこれ等の人々は極力反對して外人を備ひ外債をつるといふことはやがて我が清國を亡ぼす基だと主張したのであります、

政府では此の騒動を鎮める爲めに人望ある端方を四川省に遣しました、端方は武昌から一大隊位の兵を護衛としてつれてまゐりましたが武昌ではつひに革命黨が起るやうになりました、最初中秋の

頃武昌に革命黨が破裂するといふやうな噂が専らでしたが其の時は何事もなく打ち過ぎ十月十日の夜になつてから忽然峰起しましたわけであり、翌朝になつて武昌に居た大官の一家族二百餘名といふもの各々姿を變へて逃げて參りました、此の方々は何れも一ヶ月程前までは旭の昇る勢で夫の位置に従つてそれ／＼豪奢な生活をつゝけて居つたのですが今ははや髪を亂し化粧もせず塵にまみれたメクラ縞の如き服を纏いまるで女中のやうな有様で涙を流しつゝ助を乞ふて來たのであります如何に有爲轉變の世とはいひながらあまりなるこの有様に唯感慨胸にせまるのみで言葉も出せません次第で御座いました、そこで先づ是等の人々を取り敢へず領事館に收容致しました、私も情に於はこの人達を十分救助して上げたいは山々ですけれども、併しこれによつて支那革命黨の怨を買ふやうでは困りますので随分當惑致しました、それに一方ではこの暴動の起つた理由を報告せざるはならず、又武昌にある我が日本人を救つて上げなければなりませんし實にそのせわしさ譬へようがありませんでした、それでまづ大官の家族達を程近い空家を借りてそこに移しました、この頃革命黨は人心收攬策として武昌の監獄を開放したので凡ての囚人は四方に散亂し此の附近一帶強盜放火、等が盛に行はれますので其警戒にも亦非常に氣をくばりました、尙又當分の中は此の騒亂の起つた原因がよく解つてゐなかつた爲めに、大方例の排外思想から起つたものと推察したので外國人の恐怖が一通りではありませんでした、又支那人のボーイなども先年の北清事件のことに鑑み皆

逃走するといふ騒ぎです、しかし一週間もたちますと、此の騒亂は全く清國政府に對して起つたもので外國人には決して危害を加へぬといふことが明になりましたので少しは落付きました、革命黨は先づ武昌に起つて其れから漢口に渡つて支那街に入り外國居留地の後の競馬場に陣地をとりました。こは日本領事館の塔上から眞下に瞰下されるので戦争を見るのには好適地でありましたが、何しろ砲弾は殆んど休みなしに飛んで來たり、そこらの人心が沸きかへるやうにさわぎ立つて居るために少しも落ついた心持は致しませんでした、恰も此の時我が對島艦が漢口を訪ふといふ電話がかゝりましたのでうれしさやる方なく一日千秋の思でまち詫びて居ました、愈々十二日の午後一時入港といふことに定まりましたので、私はボーイをペランダに出して張り番をさせ今か／＼とまつて居ました、その内に黒い影が見えたといふ報知がありましたので、晝食を半ばにしてペランダに飛び出し、かねて用意の小國旗を力の限り振りました、やがて艦が港内に投錨して艦長の川島少將が領事館に見えました、こゝに英、佛、獨の軍艦も居りましたが、我川島艦長は各國居留地を防備する總司令官となられ、町田隅田艦長は陸戰隊の指揮官となられました、こゝに日本は各國居留地中で實に花々しい地位にたつたので實にうれしいことでありました、凡ての議事は日本總領事館で開かれましてので塔には朝早くから戰況を見にくる人は絶えず、役所の人々には辨當を出さなければならず、其他種々の雜用に追はれて二十日間程は夜もろくに寝たことがない位でした、この間の食料には必

ず困るだらうと豫期致しましたから、暴徒が起るや否やとりあへず、手元にあつた三十圓許りの金でもつて先づ、澤庵、味噌、ベーコン等凡て貯蓄し得らるゝものを買ひこみましたので幸ひかゝる間にあつてもこの點にだけは余り困りませんでした、尙不時に金子の入用もと思つて、百圓ばかり朝に役所から借りましたが、それがもう夕方には融通のきかない紙屑となつてしまひました、これは湖北武昌の總督府の兌換紙幣であつたからであります、そこで已むを得ず正金銀行からやつと二十圓の銀貨を都合して貰つてそれでとりあへず召使の者共のお菜を買ふことにしました、此の間にあつて外國の商船などは誤つて砲撃せられるを恐れて一時通はなくなつてしまひましたがひとり日本の商船のみは此の危険を冒して通例と同じく始終通つて居ましたので、日本商船の信用は非常に高まりました、尙今も引き続き信用を落さないのは實にうれしい事であり、此の商船によつて馬肉、牛肉等の如き食料も凡て上海から運ぶことが出来ましてなか／＼便利で御座いました、此の地方に於ける革命黨は初はすさまじい勢でありましたが瞬く間に衰微する様になりました、これ革命黨を組織して居る兵士が種々雜多の階級から成立つて居てまるで統一のない烏合の衆であつたからであります、其中に海戦もございました、北京軍からは各國居留地を隔て、其陰に陣取つて居る革命軍を撃つといふので各國の居留民に避難するやうにこの事で大抵の人は楊子江を下つて遠く

避難いたしました、此の際私は領事館に留まつて居ましたが實に物すごい有様でございました、此の戦争には兵士より良民が多く失はれたので其の屍がこゝかしこに推く積まれて實に目もあてられぬ悲惨な光景でありました、取あへず同仁病院で赤十字の旗を立て、負傷者の救助につとめました此の同仁病院長の令夫人は母校家事科出身の河野よしの氏で随分能くお働きになりました、それから大分立つてから、日本赤十字社からも出張して救助に盡されました、

此の騒亂中にあつて私の最も感を深くしましたのは明治天皇の最後の天長節を御祝いたしたことであります、十一月三日の朝には日本軍艦五隻を始め、英、佛、獨、露、凡て二十隻許り何れも満艦飾をして港に投錨して居りました、私は彈丸の下にありながらも一生懸命に今日の用意に従事し、豫て培養した二百鉢許りの菊を以てテーブルを飾りそれ／＼晚餐會の支度を致しました、此の時領事館前に整列してゐた各國軍艦から壯嚴なる君が代の吹奏が起りました、支那艦さへも満艦飾しつゝ戦争するといふ有様でありました、實に想出多い勇壯悽愴の天長節でありました、このとき招待したのは各國の士官商人等が主で婦人は大概避難して居りませんでしたので私も唯準備だけして置いて會の始まる頃には退いて一人靜かに此の目出度い日を祝ひました、

今一つかゝる倉皇の間にあつて私の心を最も感動せしめたのは、諸先生からの情のこもつたお手紙であります、見ツトモナキトセヌ様ニこの御言葉を受けたときは一種云ふべからざる感に打たれて我を忘れて感泣いたしました、實に有難く感じて心底に一種云ふべからざる強き力を感じました、それで歸朝のときも先づ第一に母校にとんでまゐりましたわけでございます、

最後にこの支那動亂に就て考へますに、清朝三百年、この一戦により急轉直下の勢で脆くも亡びましたのは何故でございませう、一國の興亡に關する此の一大事にあたつて國に一人の義人なく、歴史を飾るべき忠臣の出なかつたのは何故でせうか、實になさけない事ではございませぬか、しかし之は決して單に他の事とは思へませぬ、西洋文化の盛んに輸入され消化されつゝある今日、日本の風潮も昔日とは大に變つて來てゐますが、變化必ずしも悪いとは申しませんが、之かために日本古來の美風がすたれて凡てが若し自己中心にばかり傾く様なことになりましたら甚だ憂ふべき運命になりはしまいか、どうぞこれからの教育者によりしく先づ我國民を如何に教育すべきかの根本問題にふれこゝに重大なる責任を以て大に覺悟してかゝらねばならぬとぞんじます、

(文責在記者)

東京市本郷區文京二丁目六十六番

大五二半四日
幼子や青きを踏みし足の裏
子規

大正二年四月廿五日印刷
大正二年四月廿八日發行

發行所

櫻

蔭

會

東京市本郷區元町二丁目六十六番地

振替貯金口座六五八九番

編輯者 龍
發行者 川

印刷者 安 藤 忠 容
東京市神田區旅籠町二丁目十一番地

印刷所 廣 業 館
電話下谷五五七

景對この支張通讀に餘て替へるを...

夏衣大賣出し

五月一日より

特製 夏コート陳列會

珍柄 帶地陳列會

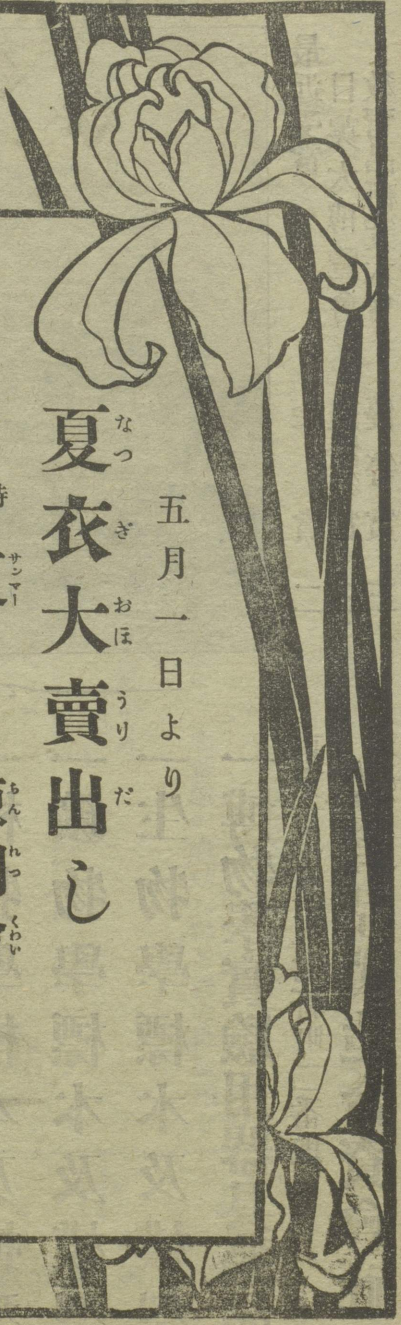
東京今川橋

特に本年は變りたる柄合ひ幾多取揃へ申置候

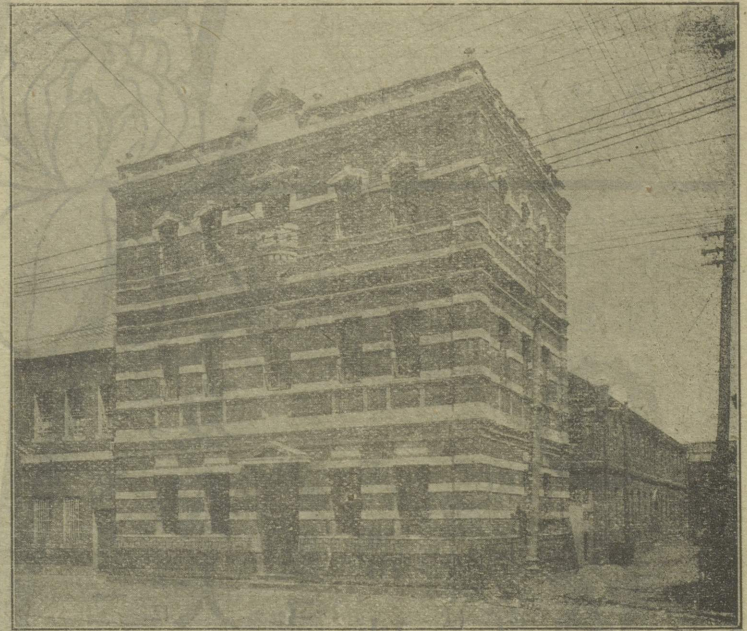


松屋吳服店

電話本局 五〇〇〇番



創立明治五十年十一月三日



最近受賞
日英大博覽會
教育品研究大會

金賞 二
最優等賞 三
優等賞 三

營業品目

- 一 物理學器械
 - 一 化學器械
 - 一 理化學實驗用材料及藥品
 - 一 動物學標本及模型
 - 一 植物學標本及模型
 - 一 礦物學標本及模型
 - 一 生物學標本及模型
 - 一 博物學實驗用器具藥品
- 東京市淺草區七軒町二番地
教育品製造合資會社

近藤氏製氷器

東京女子高等師範學校教授
近藤耕藏先生考案



驚クベキ製氷器

(特許出願中)金參圓五拾錢

- 一、空氣なき所に於て、水の傍に濃硫酸を置けば水が自己の蒸發の爲めに冷えて氷となることは、古く知られたる事實なるは相違なし
- 一、只現今の中等程度の諸學校に於て、此實驗の成効し得る程の排氣機を備へ居るもの殆んど絶無なるを奈何せん
- 一、近藤氏製氷器を以てすればアルコールランプと濃硫酸だにあれば簡單に容易に又迅速に上記の現象を見るを得べし
- 一、普通工業の濃硫酸を注加してよりは二分以内にて確實結氷す
- 一、フラスコは特別の硝子を用ひあれば危険はなし
- 一、使用法の詳細は本器に添へられたり

島津製作所

東京市京福
都市神岡
市田天
木區錦神
屋町一丁九
二丁目十五
條八番地
南八番地

東京女子高等師範學校教授近藤耕藏先生著

訂正五版

日用化學講義

上製美本 全一冊
參考插圖 十二頁
說明插圖 七十餘圖
定價 金一圓廿錢
郵送料 金十二錢

本書に對する世評 燃燒化學：即ち火は何故に燃ゆるか、燃燒材料化學：即ち石油、石炭、木材、瓦斯の燃ゆる所以、食鹽化學：即ち食鹽の性質、成分の検査及改良の水の化學：即ち換氣法乃至飲用のと然らざるもの、硝子の化學：即ち陶磁化學、顏料の化學、織維化學、嗜好品の化學、洗滌化學、漂白化學、食物化學、嗜好品の化學、醱酵化學、消化化學、防腐法化學、日光による化學變化、荷も吾人の日常接觸するものを取りて化學的說明を與へざるなし、文明の社會、教育ある家庭に必ず備ふべき良書にして、讀者は幸福なり、讀まざる者乃至讀み得ざる者は不幸なり。……【東京朝日新聞評】

◎文明社會のあらゆる、電氣に關する知識の寶庫

訂正 拾五版

電氣學講義

上製美本全二冊
參考插圖
定價 金八十錢
郵送料 金八錢

今日物理學界は殆ど電氣學の舞臺なるが如き觀ありて、各種の現象若しくは應用の發見發明せらるるのみならず、從來の機械もこの力を發揮するもの少からず、而してその學理たるや高尚深遠、初學者の容易に窺知するを得ざるものありといへども、その一般的理論に於ては強がち學知し難きにあらざる。この書は始めに應用の一般的學理を講じ、次に力めて應用を説けり。曰くX光線、曰く動力としての應用、曰く無線電信、曰く電氣、曰く自動車、曰く潜水水雷艇と、皆美麗なる圖畫を添へたれば、以て中等讀書界に推薦するに足る。【教育時論批評】

文部省視學官 文學士 吉岡郷甫先生著

訂正 文語對照語法

上製美本全壹冊
正價 金壹圓二拾錢
郵稅 金十二錢

我國人は不幸にも文語、口語二種の言語を有し文語を以て記録し、口語を以て記録し且つ對話す。正しく記録し、正しく對話せんことを欲する者は文語、口語兩者の語法を知得するを要し、兩者の語法を知得せんことを要す。從來我が國語教育に於て、文語法及び口語法の對照教授の主張せらるるもの寔に故ありし謂ふべし。而もその組織の頗る難事たるが故に、對照教授は唯人の主張に任せて、未だ實行せられざること久し。吉岡文學士は眞に「日本語法」を著して新界に大光明を與へたる人、未だ人の着手せざるものに着手して研鑽多年、今茲に此の書を公にす。以て文語、口語兩者の語法を知るべく、文語より口語の發達せる由來をも知るべし。國語を愛重するの士、國語教授に當れるの士は必ず一讀せられざるべからざる也。

東京府立第三高等女學校教諭 芝野六助君 大石市太郎君 小野忠治君合編

新式 語法要覽

美本全壹冊
正價 金四拾五錢
郵稅 金六錢

▲總べてのものを表に作つたのが本書の特色である。而も極めて巧妙な分り易い、記憶し易い表とし、たのが特色である。多年實際教授の經驗の上から工夫された新案である。

本書の特色 中等語學校の國語科に於て、最も困難を感ずるものは語法の教授なり、從て生徒自身か嫌厭するものも亦語法の時間なり。これを蓋して教授の上に適切の方法なきを以てなり。本書は即ち著者多年教授の經驗が生み成したるものにして、一々これを表示して學修に便せしめたるものなれば、これを各自に持たしめて、以て通用の自在を得せしめなば、尤も簡易明確に語法の教授を完全になし得べく、生徒も又興味を以て語法上の知識を會得すること容易にして、而も記憶に便なること恐らく理想に近きものあるべし。

振替口座 東京 三七二七



電話本局 二〇三九番

振替口座 東京 三七二七



電話本局 二〇三九番

漆塗黑板の元祖

帝國大學、陸軍大學、慶應大學其他一百餘校御用

林式黑板塗

新調及塗換ノ
貴需ニ應ズ

(御報次第見本及營業案内進呈)

林式萬年石盤

木板製 定價 金拾貳錢
鉄板製 全 金拾 錢
外に送料金四錢

此石盤ハ株式黑板塗ヲ應用シタルモノニシテ專賣特許林式漆ヲ施シタルモノ優美ニシテ、堅牢輕便ニシテ經濟眞ニ理想的的教育品ナリ

地球印 黑板液

壹罐(普通黑板五枚分入)
附屬藥品及刷毛共
定價 金壹圓
送料 金拾貳錢

是亦林式黑板塗ノ應用ニシテ何人ニモ自由ニ塗り得ラル、模範的ノ黑板液ナリ

●附記家庭に用ひて最も兒童に適する石盤兼用の机あり
至極重寶の品なれば是非御試用を願ふ

東京小石川目白坂上 三洋商會 振替東京二四一〇〇番

◎地理歴史教授用標本

女學校用 小學校用 **家事科標本** 教育品研究第二卷 第二號參照せられたし

實用新案登錄願書番號第七〇八八號

一 萬能實物幻燈器

(實物幻燈器)兼
(顯微幻燈器)兼
(日光幻燈器)用

甲種(日光)兼(電光)用 定價 金五十圓
乙種(日光)用 定價 金三十五圓
丙種(日光)用 定價 金貳拾五圓
丁種(電氣)用 定價 金拾八圓

一 實物印刷標本

內容 (字型、活字、形線、込物、活字架、文選箱、木版、紙型板、鉛板、石版、凸版、電氣銅版、寫真銅版、コロタイプ版)

說明書附 甲種 金十圓
箱入一組 乙種 金六圓

▲理化學器械 博物學標本

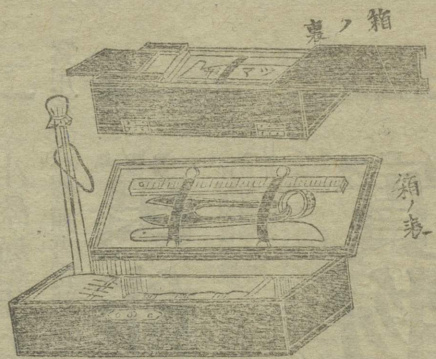
製造販賣

東京市本郷區切
通坂町二十番地

三 育 社

●女學生諸嬢通學用優美堅牢

特許小町はり箱



本黒塗製 價壹圓廿錢
 内地送料八錢
 ニツ折鯨尺、クケ臺、針
 差、缺、ヘラ、襷形、絲卷、
 指板、美麗二重紙箱付
 特製 價六十五錢
 内地送料五錢
 ニツ折鯨尺、クケ臺、針
 差、缺、ヘラ、襷形、絲卷、
 指板、美麗二重紙箱付
 上製 定價五十錢
 内地送料八錢
 クケ臺、針差、絲卷、美
 麗二重紙箱付

此小町はり箱ハ通學用トシテ携帶シ易ク家庭用トシテ
 最モ便利デ其内ニハ起伏自在ノクケ臺ヲ取付アリ裏
 面ヲ開ケバ敷臺トナリ又裁縫具一式ヲ秩序整然ト入レ
 テアリマスカラ淑女諸嬢ノ旅行用御進物用ニ好適デス
 ▲特約販賣御希望ノ方ハ御申込ミヲ乞フ
 東京市赤坂區青山町二丁目十六番地 竹中商店
 電話芝二八八四番振替東京三三三三番



新案 特許 八カライラタス

時代の要求に應じ
 考案したる
**御婦人方の
 日常必需品**

特許
 片たすきの図
 はかにせむか
 いかたが図
 そかきを取
 かけたる図
 一今までの襷さちがひ袖
 へ(しほ)のつく心配がな
 く掛けはすしにも面倒で
 なく御便利です
 一せなかへ(はす)に掛け
 ると右の袖がうしろへ引
 かれる故水仕事の時には
 最もよろしく腕を充分に
 出さうとするには袖口の
 近くへ(ばね)を御付にな
 れば自由に出ます
 一十文字になりませんが
 暑中などにも衣類へあ
 らせが付かず一尺五寸位の紐さへ取りかへになれば永年
 御使用の節は必らず兩袖へ(ばね)を一ツツ、付てから
 後でいろいろに御掛になればよろしいのです
 特約販賣
 御希望ノ
 方ハ御申
 込ミヲ乞フ
 定價 五組箱入 金八錢 送料二錢
 一組箱入 金卅五錢 送料二錢
 (郵券代用券シカラズ)
 陳列販賣所 銀座發明館 新橋天下堂、京橋ハイカラ堂、小川町
 天下堂、新宿日本種苗株式會社、京橋際鶴間組絲店

最新刊 學校園の實際

東京女子高等師範學校教諭 竹島茂郎先生著

近年學校園の設置は都鄙を通じての一大流行の有様であると云はなければならぬ、只これ流行である故に其計畫の大袈裟なるに拘らず、其内容は甚だ貧乏なるものであつて、實に一種の風致園たるの域を脱せないものである。此に於てか弊店は、年來園藝趣味の鼓吹者として、理科教授の傍ら生徒と與に犁鋤を手にして學校園の實際は斯くなければならぬことを期する次第である。希くは本書に依りて以て學校園の面目を一新することを得ば當に弊店のみならず止まらぬであらう。

全完部 實際高等小學讀本研究卷下

東京女子高等師範學校助教授 兼同校附屬小學校訓導 北澤種一先生著

●本書は國語としての教材の研究書にして教授書にあらず、教科書を中心とせる國文學的趣味の助長にありて、教授方法の提供にあらず、眞によく教授の實際に該る當路者の便を圖り其徒勞を減じ以て國語教授の實績を大ならしめんとする使命を有す。本書は單に該る當路者の研究に止まらず、別に參考と餘録とを添加せり。蓋し教授者をして一段の落ち付きて餘裕とを存せしめ、所謂急迫せる教授に陥らざらしめんが爲めの苦心と用意とによる。上巻出づるや實際家諸君の大歡迎を蒙り重版の光榮に接せり今回下巻女子用讀本を加へて愈々出づ幸に御採用の榮を給へ。

下巻第二愈出來
 上卷第一大好評
 定價(上卷)金八拾五錢
 定價(下卷)金壹圓
 送料各八錢

菊版洋裝美本
 實際的插畫葉入
 定價 金五拾錢
 送料 金六錢

發行所 東京市神田區小川町六番地 敬文館 (電話八五五)

千代田香油

年頃日頃

たゆまずに千代田
用ひし甲斐あつて
吾から見とる、

此の髪容

ホンの千代田は
良い髪あふらと
思はずうつす

鏡に笑顔

(定 70、3、25、17、送費4)



スワン石鹼
アーク石鹼
發賣元
支鋪
山岸三之助
東京日本橋區馬喰町四
振替東京二〇五〇〇番
大阪南區難波町二
振替大阪一八四九〇番

●婦女子の一大經典

廣島高等女學校長 齋藤鹿三郎先生編

最新刊

明治時代の
貞烈龜鑑 乃木希典の妻

和装大和綴美本全壹冊 紙數百三十頁 定價金參拾五錢 郵税金六錢
乃木夫人の最後は明治名媛傳掉尾の壯烈なり。著者親しく夫人の親戚及び昵
近者に就きて平素の志操を尋究し以て本書を成す。蓋し著者は夙に女子教育
に従事し其の時弊に對する感慨は到底夷の及ぶ所にあらざるものあり。これ
本書が他とその選を異にする所以にして眞に科外讀物中の目眉と謂ふべし。

●修身訓話の好材料

發行所 東京市橋區馬喰町二丁目九番 目録 店書黑目

岡田起作先生著

最新刊

習字新法

初版忽賣切
再版發行
洋裝菊判美本全一冊
定價金八十錢
送料金八錢

岡田先生は東京女子高等師範學校東京美術學校等の教官として二十餘年間、無慮幾萬の子弟を教授し學理と實驗とにより書學の上に一生面を開き名聲噴々たる書道界の重鎮なり、弊店主先生の新式教授法が單に二三學校の専有に屬し未だ廣く全國に普及せざるを遺憾とし乃ち切に請うてその虎の巻を公にす文體は口語體説明は簡單明瞭宛も通信教授の如く之に就けば何人もよく短時日の間に書道の名手たるを得べしその坊間の速成法と全く選を異にするは先生が久しく文部省習字檢定試驗委員たるに徴しても明らかなり大方の諸賢請ふ安んじて購讀の榮を賜へ

天覽

草海

第四版

菊判洋裝全一冊
定價金九拾五錢
送料金八錢

岡田先生が二十餘年間の經驗より案出せられたる楷書の崩方を親しく執筆せられたるものは本書也。發賣以來非常の盛況を呈し、注文滔々底止する所を知らず、初版即日賣切れ、再版亦盡く、茲に**第四版**を發行す、注文滔々底止する所を知らず、しむ人にして、楷書の崩方を知らず草書の手紙を読み書きする事はざる人は一日も早く本書を手に入らせられよ、草書の崩方、讀方の自在を得て、事務の敏速此上なかるべし

私 は !

婦女新聞

と申す週刊新聞
で御座います

◎私 は

◎私は自分の長所を吹聴するのを好みませぬ

◎私は一度皆様の御家庭へ上りたいと祈つて居ります

◎私は濃厚なお化粧や、ハデな服装は嫌ひで御座います

◎私は旦那様が心に思召して仰せにならぬやうな點を奥様やお嬢様に親切にお傳へいたします

◎私は奥様の御相談相手です、家事でも交際でも經濟でも育兒の事でも其

他家庭一切の事柄について

◎私は悶えて居られる方を十分慰めておあげ申したいと思ひます

發行所 東京大區石川町九番地 婦女新聞社 電話番替 一三〇七

東京小川町一田 文會堂發行 (電話本局一四三二) 振替口座三五二一

御進物用切手調進

女子高等師範

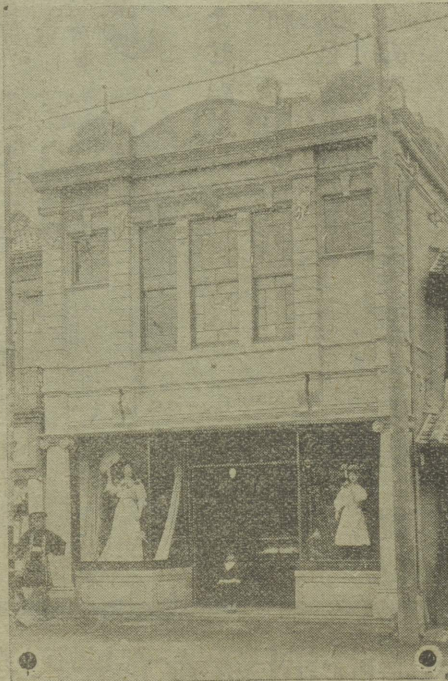
各府縣女子師範

各高等女學校

日本赤十字社

御用

婦人洋服地、コート地、羅紗
カシメ袴地、帽子レース化 直輸入販賣
粧小間物洋裝品
男女高等洋服裁縫 (並ニ袴調製)



東京市本郷區眞砂町大通リ

大河内婦人洋服洋織店

電話下谷五百二十八番
振替口座東京八三七二番

●營業目錄 御入用の方は東京九段坂吉住商店宛左下方の切抜を添へ郵券貳錢を送れば送呈す

營業 造花材料
科目 袋造花材料 造花器具 造花半製品及既製品 刺繡材料及器具類 造果材料及果實標本

造花材料 造花書籍

●實用造花自在 此書は全く造花の心得なき者も一讀せば直に造花術の秘訣を知り得る様詳細説明せる絶好の書籍なり下に新聞社評の一例を掲ぐ

●實用造花圖譜 此書は瓣、葉、萼等の切型着色及組立を圖示せるものにして花の種類七十一種を掲載し悉く鮮麗なる石版數度印刷の美本也

●書籍内容見本入用の方は東京九段坂吉住商店宛下の出抜を添へ郵券二錢送れば送呈

四十四年八月七日
讀賣新聞批評
吉住春子著
實用造花自在
裝飾の流行に伴ふて手工藝の近時漸く珍重せらるるを先づ吉住氏か此機に先づ苦心をこめて本書の既工夫し、るもの既名を造花術秘密の鍵と名づけ、精巧なる圖解を以て、始める手取りを教ふるを、本書に採りし、造花の美しさを、附録として、五十三個を加ふべし、き本云ふべし

東京九段坂吉住商店 振替口座東京八三七二番

櫻蔭會報
第四月號

切取線

五月の白木屋

夏物大賣出し

一日より

● 本年新柄 中形浴衣地陳列會

一日より

● 白木屋特製 ライトコート陳列會

● 本年新柄

セルとネル

洋服部陳列

十日より

● 大家團扇扇子陳列會

十日より

● 岐阜提燈陳列會

白木屋 呉服店